

072279-000-3

94-732

編物図案集 犬の巻

木村 淡香 (俊秀) / 著

[M 4 4 . 6 ?]

CEG-0015



編物圖案

94

732

94-732

共立女子職業學敎授
木村淡香著

編 物 圖 案

天 の 卷

大倉書店發行

明治
44. 6. 3
丙午

説 明 書

本圖案集は織物、編物、カンバス探織、刺、南京玉綴附等に依て或模様を現す場合に使用せらるゝものにして、一定の区劃線中に或模様を描きおるを以て、單に其目數により行けば極容易に其形狀を模倣し得るものとす。猶其模様の大さは其目數の増減と、絲の太細とによりて、自由に左右し得らるゝものなれば現圖按に示せる形狀よりも、猶縮めたるものを欲すれば、或可く絲の細きものを用ひて編目を細くし、又現圖よりも猶擴大せるものを求むれば、各目數を四倍又は九倍十六倍と云へる如く、其目數を正方形に倍加し行くべし。又或は糸の最も太きものを用ゆるも可なり。今是等の用法に就いて、其概略を説明せんに、

編物 に於ては普通ヘーケルを使用して、帽子編と稱する編方にて數種の色系を以て、次第に目數を數へて、目的とせる模様を編み出し行くものとす。又一色の糸のみにて、單に其編方の變更によつて模様を現す場合もあるなり。

又編針(五本の金属製の細き棒)を使用して、メリヤス編と稱する編方にて、種々色系の區別に依て、或模様を編み出す場合もあり、又單に一色の糸にて本日編逆目編の如く、編方の變更に依て、其模様を現し行く場合もあるなり。

又一旦帽子編又はメリヤス編になしたるものに、色系を以て刺繍術の如く縫ひ行きて或模様を現す場合もあり、但し此場合に於ては能く編目に倣ふて其目數を誤らぬやうにすべし、其他レース編等に至るまで如何なる編方にてても此圖案に依て模様を現し得るものとす。

カンバス探織 に於ては、カンバス又はロングレスと稱する、蚊帳地に似たる織目の粗き布に向つて、種々の色系を其布目に十字形又は一の字形に、縦横又は斜に刺繍の如く掛け行きて、目的の模様を現し得るものとす、而して布目に掛くる目數は其出すべき模様の大さに依りて、一箇宛の布目にかくるときと、數箇の布目にかくるときとあり、探織する糸は毛糸絹糸スレーヤ糸とす、而してロングレスの如き上等の布又は本邦の紗の如きものは、模様を探織せざる余白を其儘

置くも面白けれども、カンバスの如きは其余白をも全部或配合より色系を以て模様と同一の織方にて埋め盡すべし。

絹刺 はカンバス探織法と大差なし、即ち絹の布目を拵ふて之に糸を縦又は横にかけ、或は細き平金紙を引きて其上に糸をかくる場合もあり、用糸は絹糸又は穴糸とす。

南京玉纒附 に於ては數種の色玉を圖按の列の如く、天鷲絨又は羅紗の如き布の上に、能く列を正して細糸にて綴り附け行くものとす。

以上述べたる方法を以て本圖案集に示せる各種の模様を現すときは、最も美麗なる製作品を得るに至るべし。

圖案集中(1)(2)(3)は本邦の文字をいろは式に現したるものにして、之を以て歌俳句姓名等を現すことを得べし。

(4)(5)はアルハベットと算用數字及び角模様を現したるものにして、アルハベットは、此文字を綴り合せて姓名及び其他のものを現さんとする爲めに用ひ、算

用数字は番號及び年號を現すに用ゆ、又角模様は机掛クープル掛椅子掛等の角の模様として用ゆるものなり。

今アルハベットにて姓名を現さんとするに當りて、其の綴方を本邦のアイツエオ式にして示し見れば、即ち次の如し。

A	ア	KA	カ	SA	サ	TA	タ	NA	ナ	HA	ハ	MA	マ	YA	ヤ	RA	ラ	WA	ワ
I	イ	KI	キ	SHI	シ	CHI	チ	NI	ニ	HI	ヒ	MI	ミ	YI	イ	RI	リ	WI	ヰ
U	ウ	KU	ク	SU	ス	TSU	ツ	NU	ヌ	FU	フ	MU	ム	YU	ユ	RU	ル	WU	ウ
E	エ	KE	ケ	SE	セ	TE	テ	NE	ネ	HE	ヘ	ME	メ	YE	エ	RE	レ	WE	ヱ
O	オ	KO	コ	SO	ソ	TO	ト	NO	ノ	HO	ホ	MO	モ	YO	ヨ	RO	ロ	WO	ヰ
		GA	ガ	ZA	ザ	DA	ダ	BA	バ	PA	パ								
		GI	ギ	ZI	ジ	DI	ヂ	BI	ビ	PI	ピ								
		GU	グ	ZU	ズ	DU	ヅ	BU	ブ	PU	プ								
		GE	ゲ	ZE	ゼ	DE	デ	BE	ベ	PE	ペ								
		GO	ゴ	ZO	ゾ	DO	ド	BO	ボ	PO	ポ								

アルハベットには大文字と小文字とあるを以て、姓名を現さんとするには最

初名前の頭文字を大文字にて一字離し、小さき點即ちピリオドを打つて、次に苗字の最初の字を大文字にし、其他を小文字にて現すべし、即ち木村俊秀と云ふ姓名を、最初俊秀の頭文字たるトの字の内一字のみを大文字にて現して後は略すなり、次に點を打つて少し離して木村と書すなり、即ち次の如し T. Kimura. 凡て略字を以て現さんとするには頭の一文字のみを大文字にて現し、次にピリオドを附し置くものなり、故に名前と苗字とを共に略字にて現さんとするれば、T. K. と云ふが如く二つ共大文字一字にて各ピリオドを附すべし、又姓名を全部大文字のみにて現す場合もあるなり、大文字と云ふのは(4)ページの上部に二様現したるが如き書体を云ひ、小文字と云ふのは其下に小さく現したる書体を云ふなり。

其他二方連続模様は帯の如く長く種々のものゝ周圍を取りまくに用ひ、折曲模様は折曲りたる部分に用ゆるもの、單獨模様は或物の中央部又は四隅に用ゆるものとす、四方連続模様は或物の全面を模様を以てなさんとするときに用ゆ

るものなり、其他此圖案集に示したる凡てのものは、各自の最善き適用を俟つて初めて其光彩を發揮するものなれば宜しく其適用を誤るべからず。

又卷末に區劃線を引ける用紙を附屬しあれば、此用紙に依て本圖案集を参考として、自ら考按せらるゝも面白かるべし。又本圖案集中の模様を組み合して製作物の目數を計る爲めに、此用紙に於て試むるときは最も便宜なるべし。

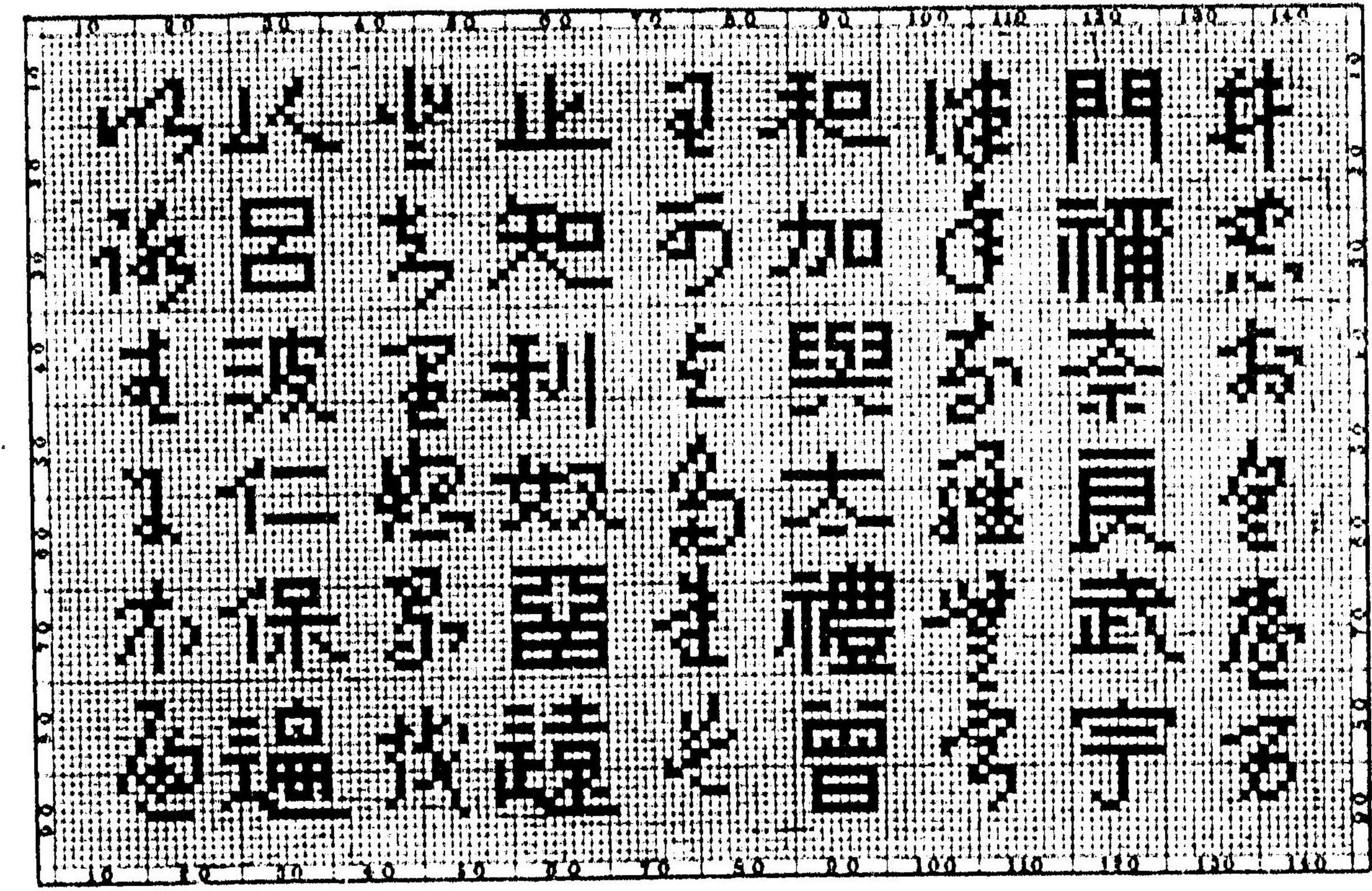
著 者 識

編 物 圖 案 集 天 の 卷 目 次

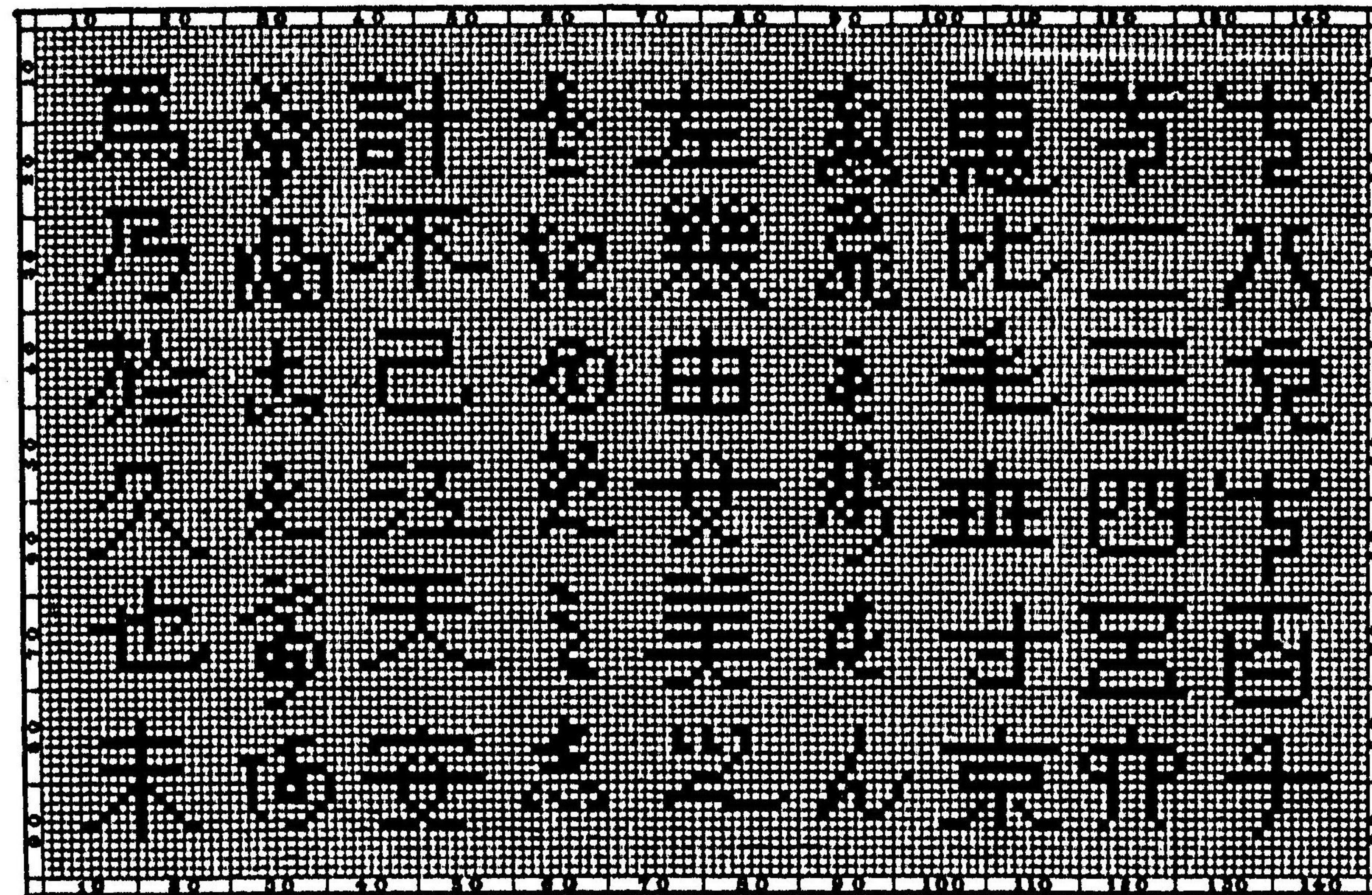
- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 變體平假名と隸書 | 12. 全 上 |
| 2. 全 上 | 13. 全 上 |
| 3. 文字の應用 | 14. 全 上 |
| 4. アルハベツトと算用數字 | 15. 單獨模様 |
| 5. アルハベツトと角模様 | 16. 二方連續模様 |
| 6. 二方連續模様 | 17. 十二支の内 |
| 7. 全 上 | 18. 二方連續と折曲模様 |
| 8. 全 上 | 19. 御題單獨模様 |
| 9. 全 上 | 20. 單獨模様と角模様 |
| 10. 二方連續と折曲模様 | 21. 花と景色 |
| 11. 全 上 | 22. 單獨模様 |

- 23. 花 卉
- 24. 定 紋
- 25. 面と人形
- 26. 四方連織模様
- 27. 小狗と梅花
- 28. 四方連織模様
- 29. 水車と鷺
- 30. 四方連織模様

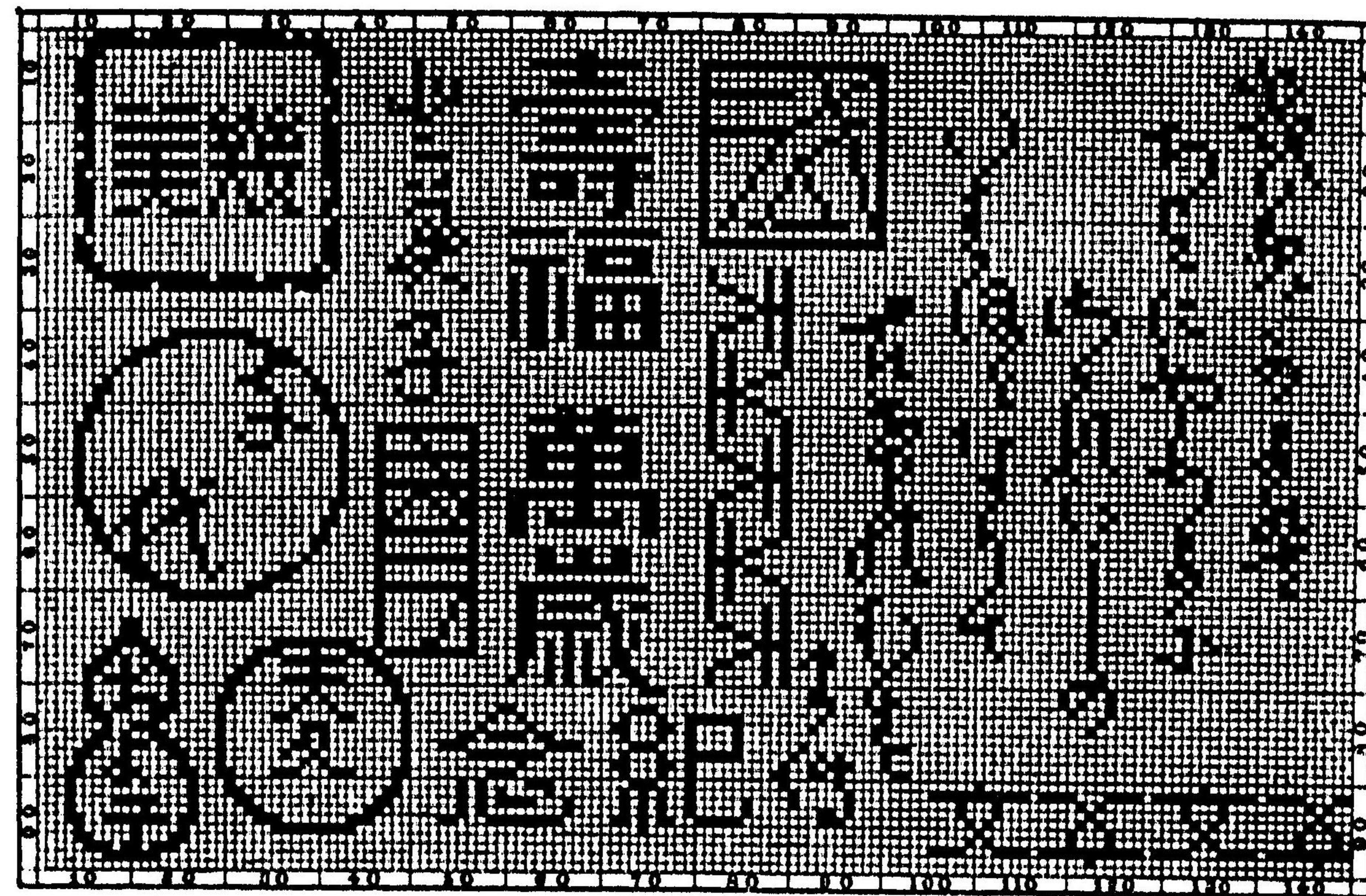
第 一 圖



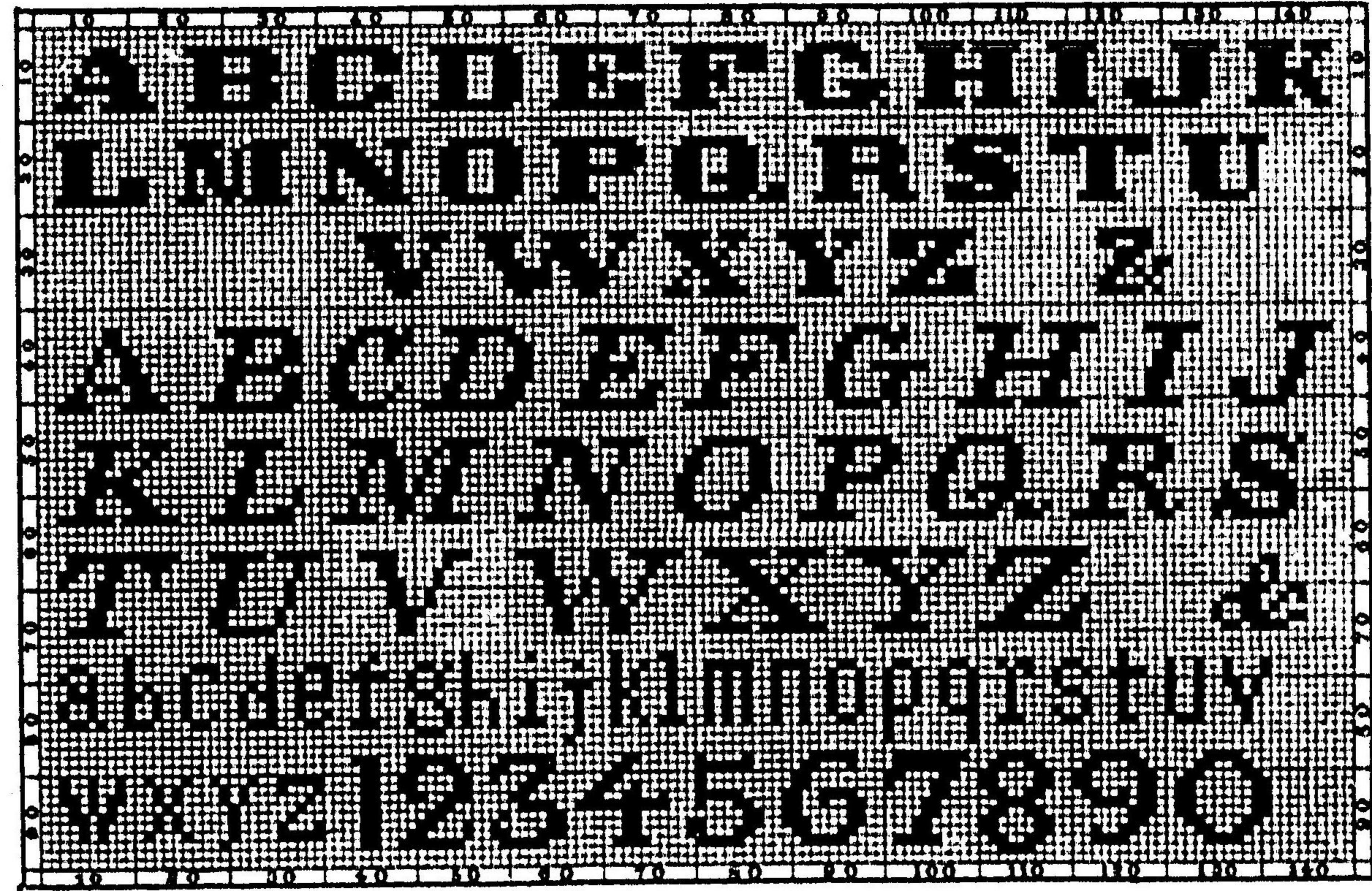
第二圖



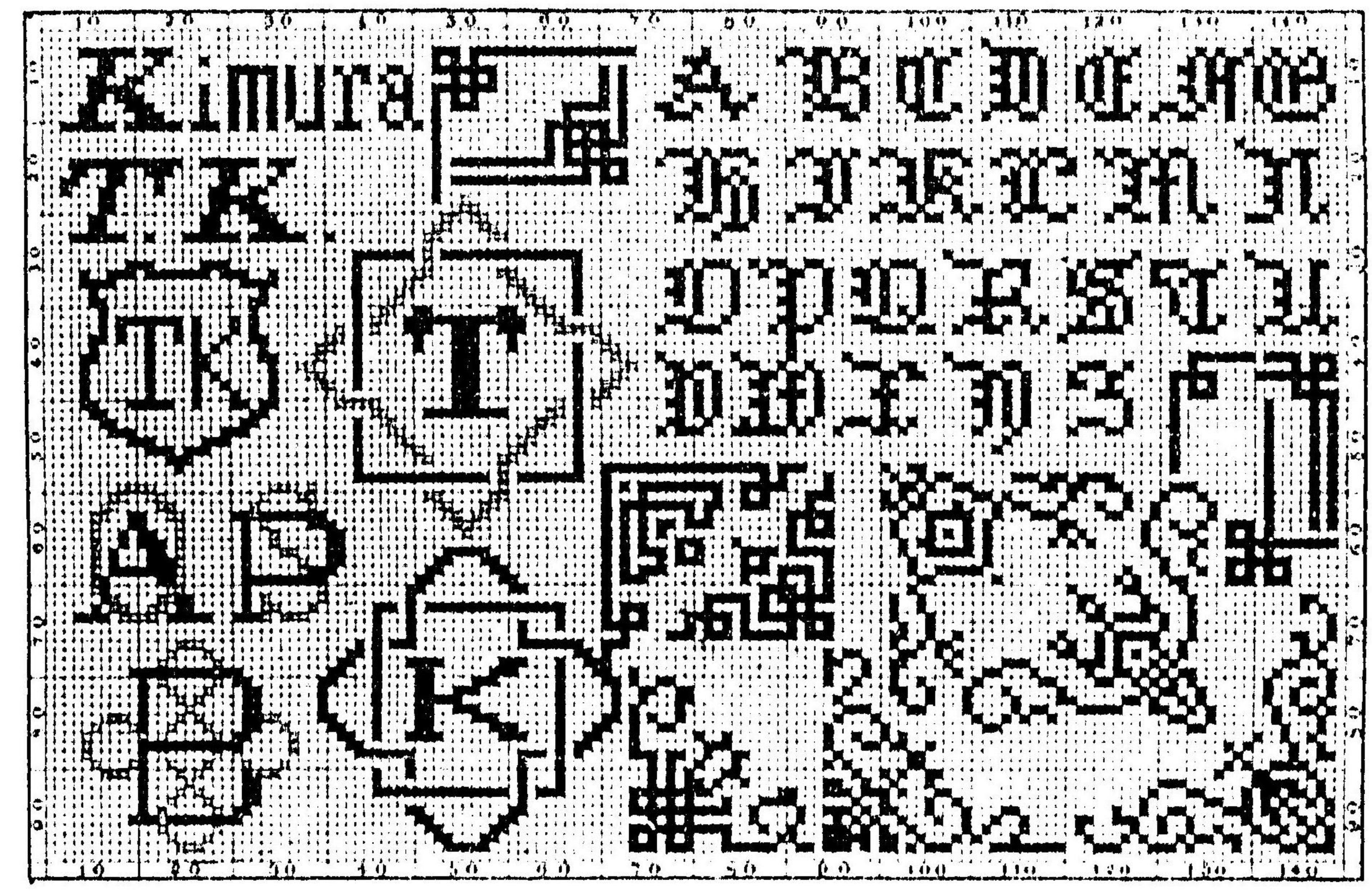
第三圖

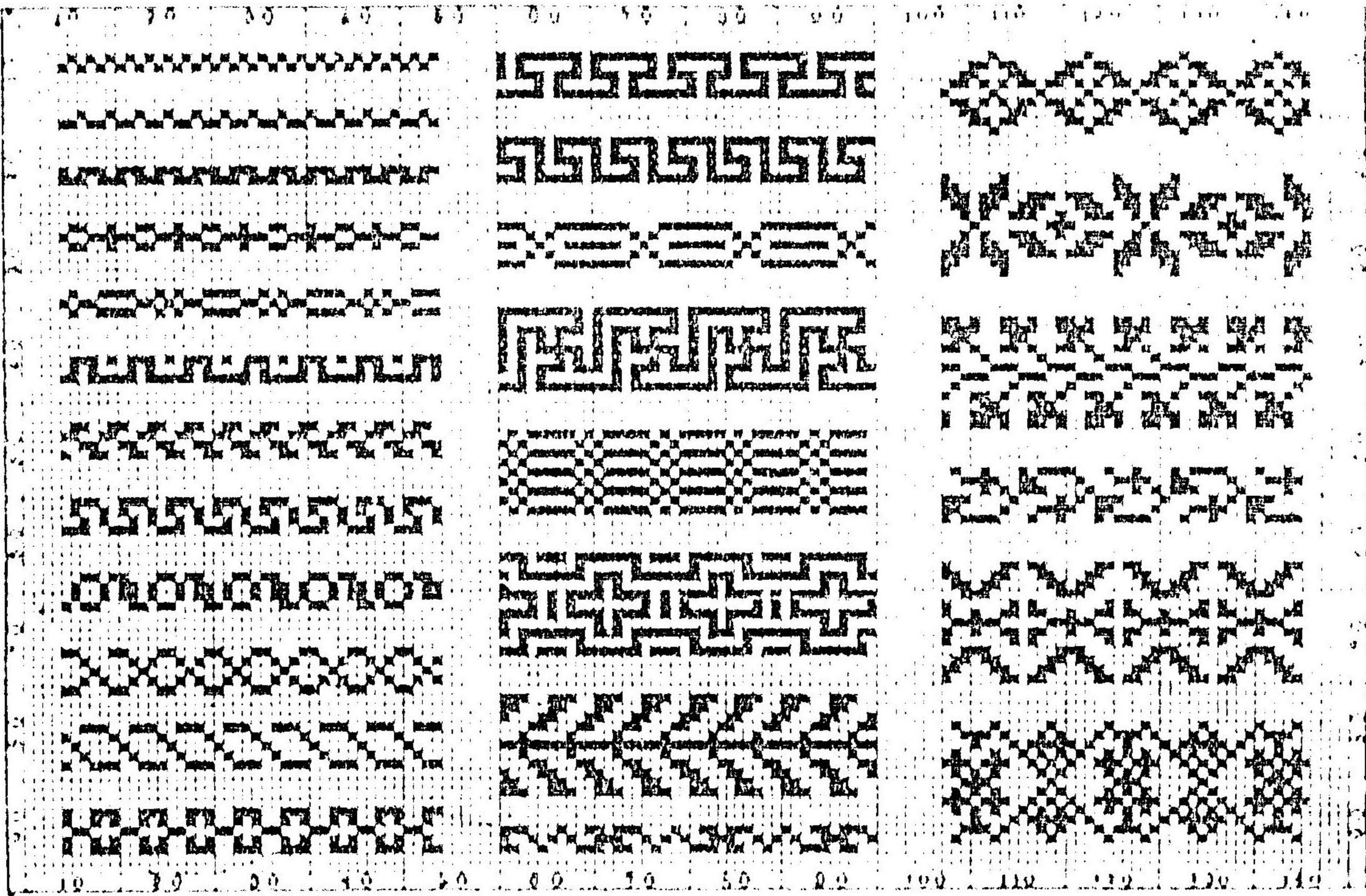


圖四

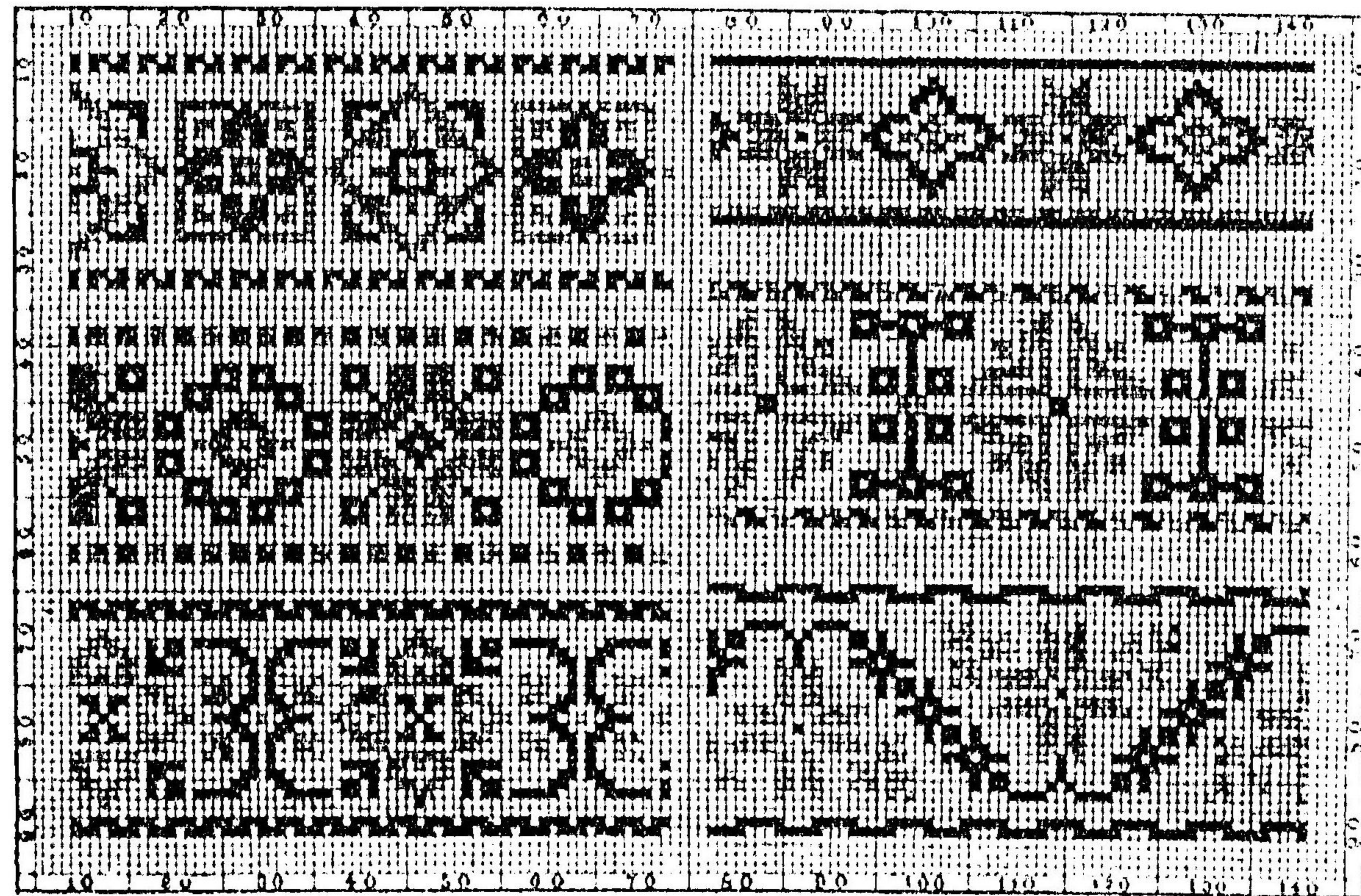


圖五 本

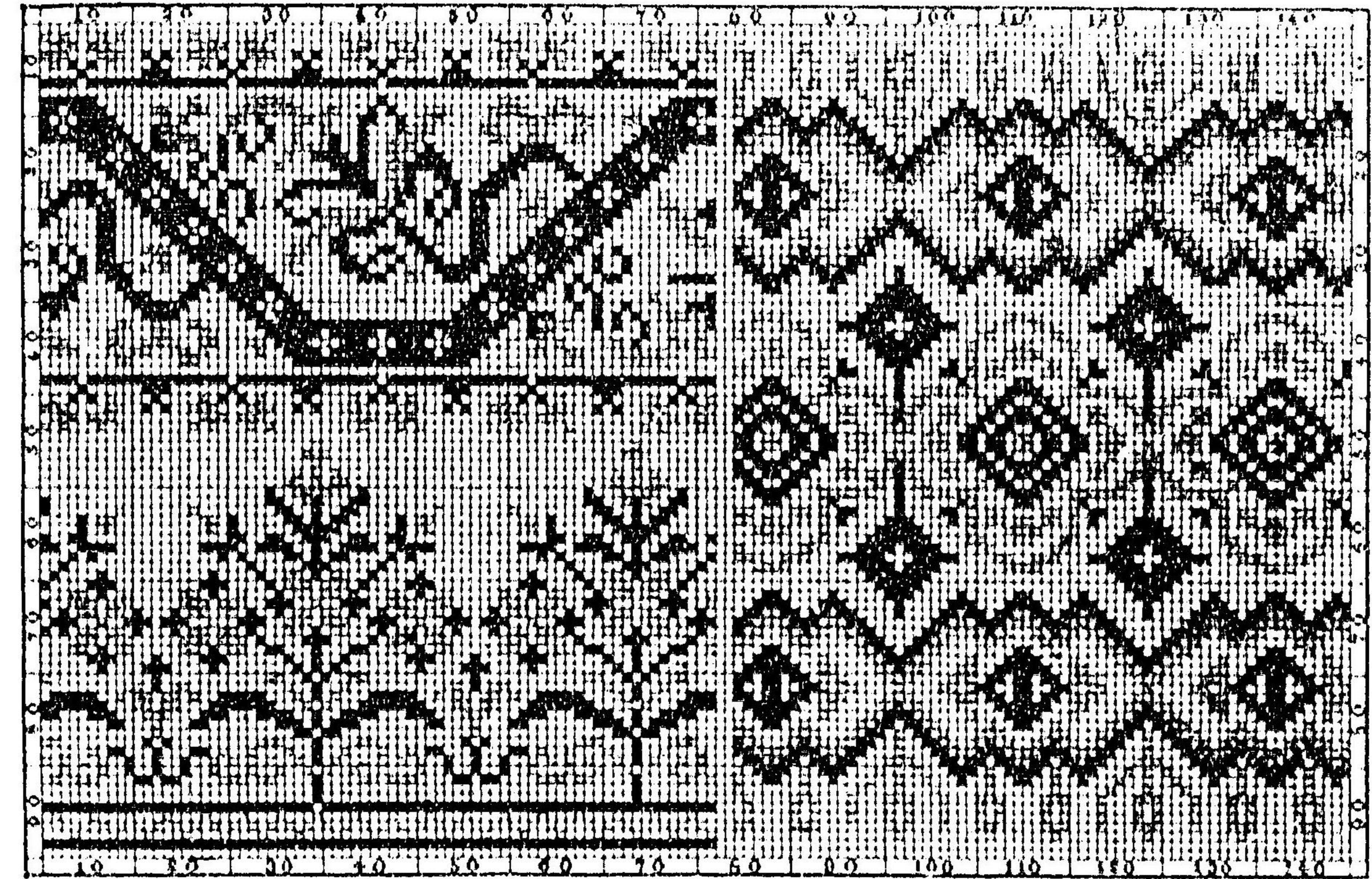




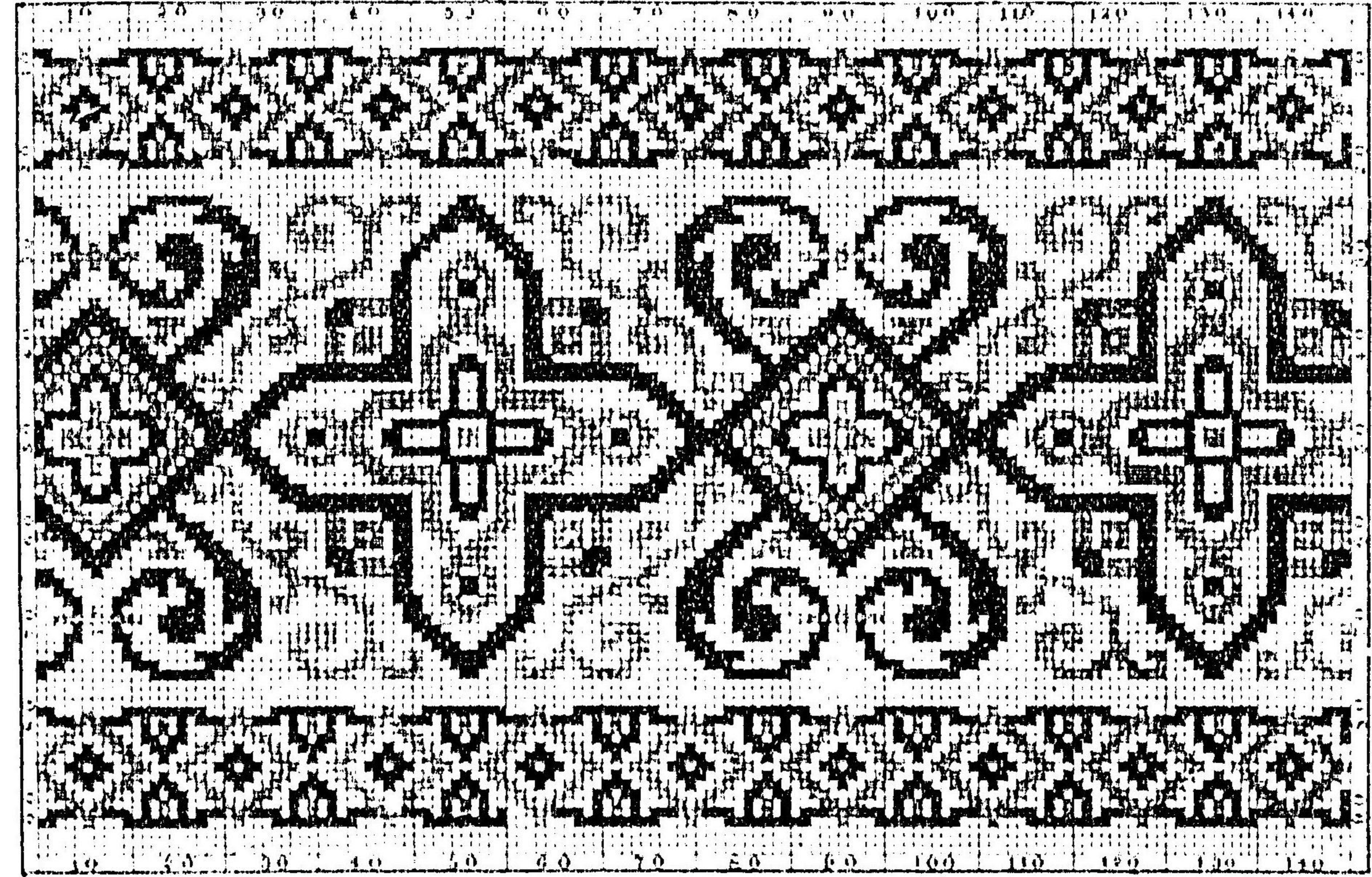
圖七 分



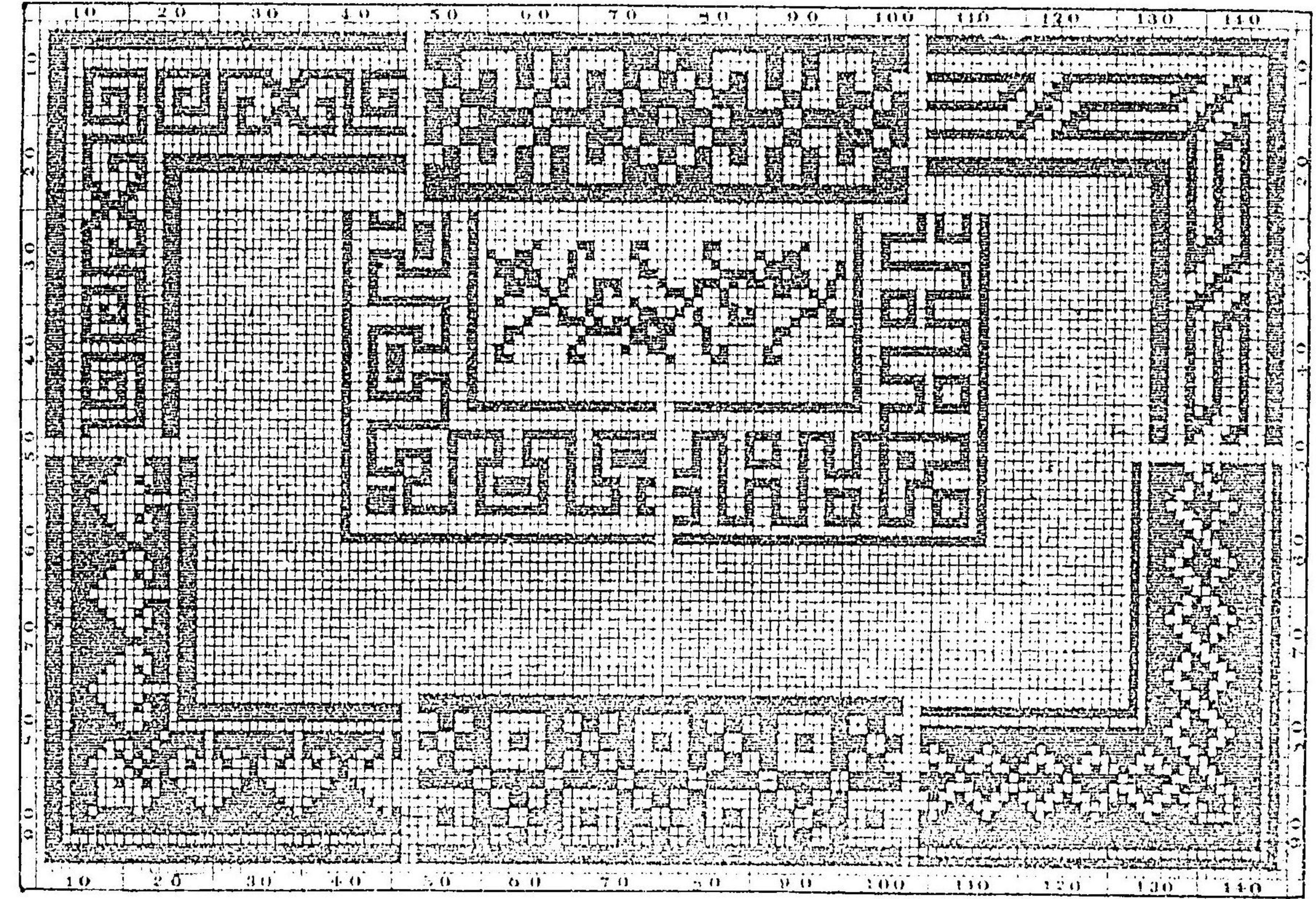
圖八第



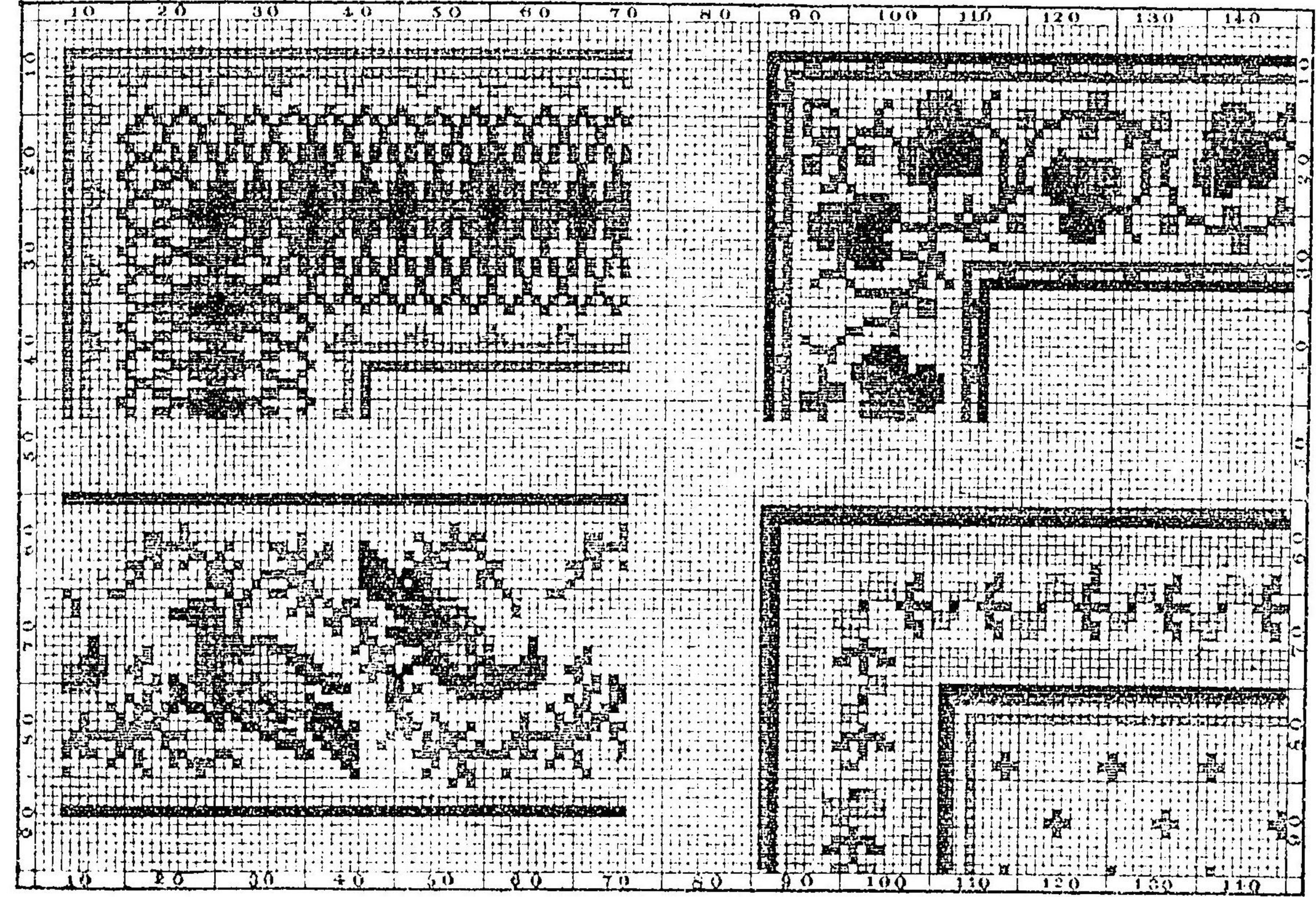
圖九第



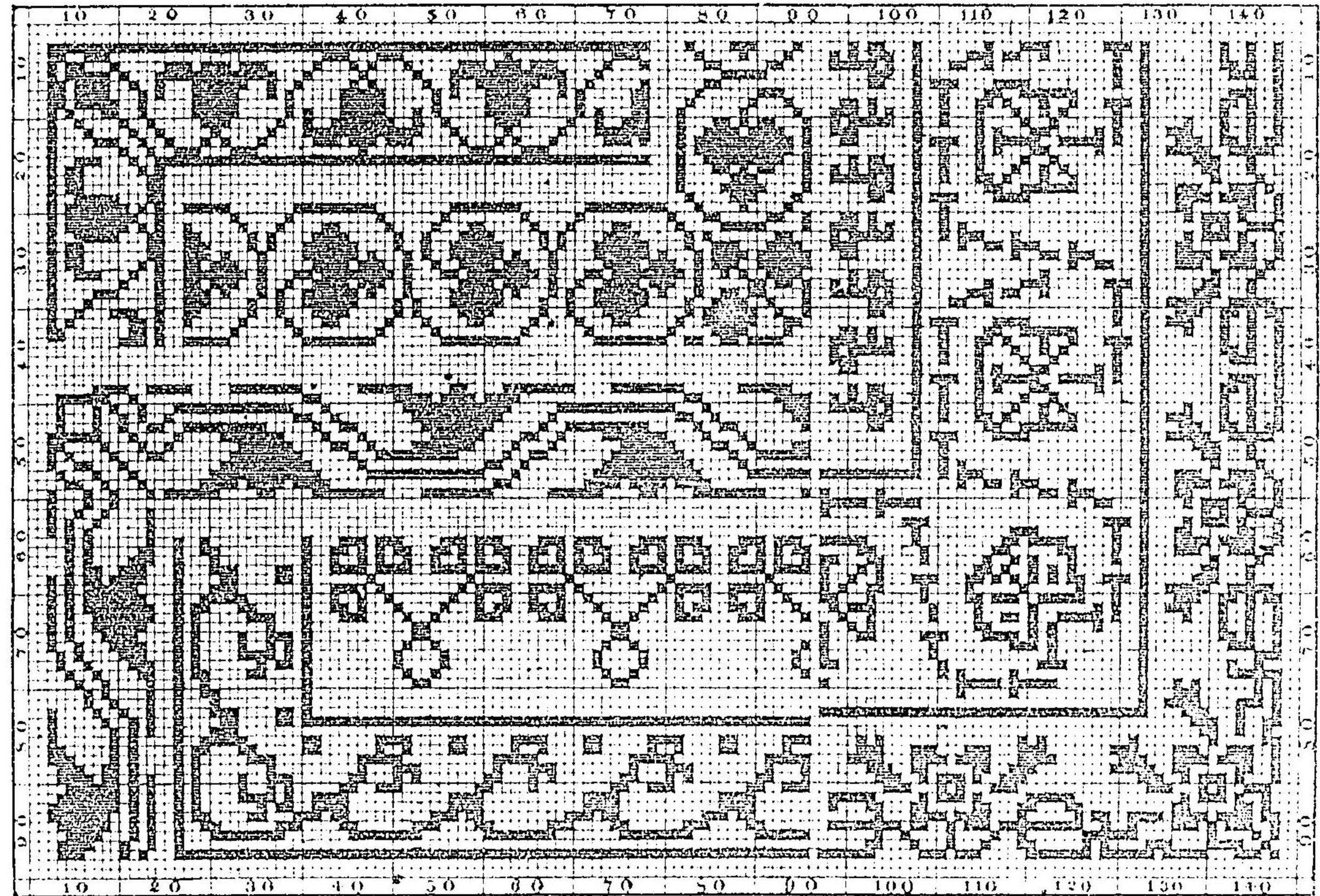
圖十第



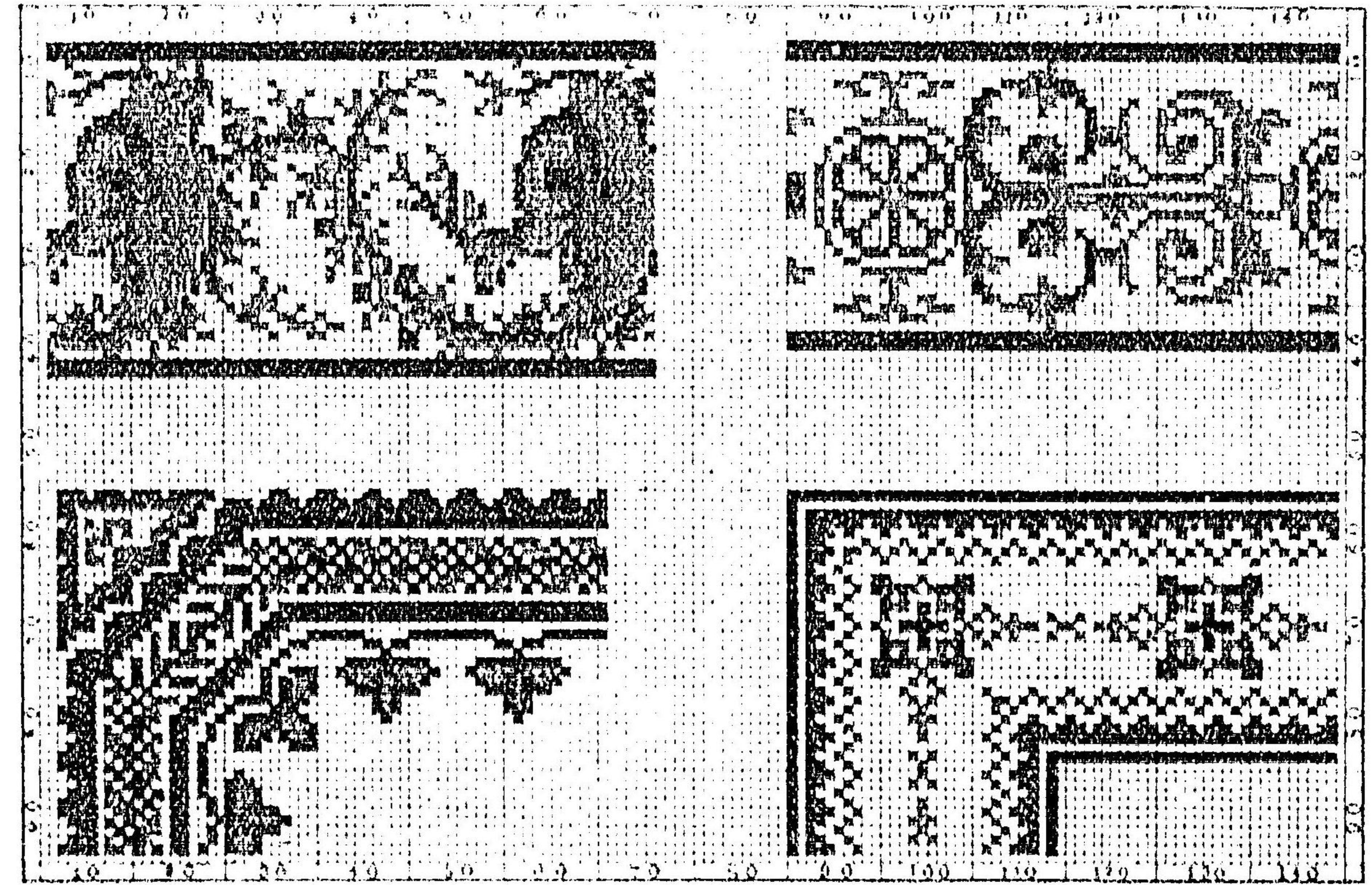
圖一十第



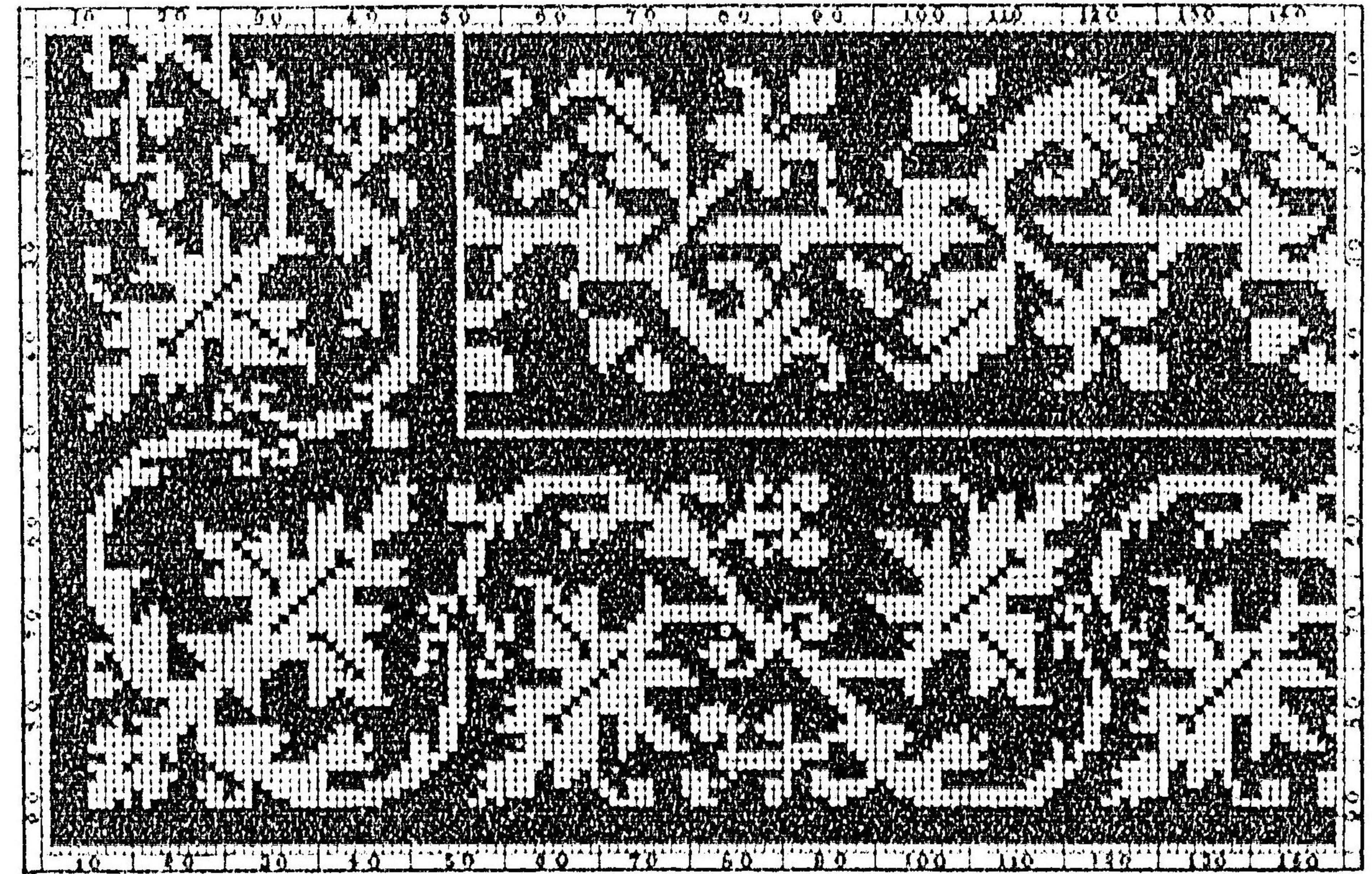
圖一第

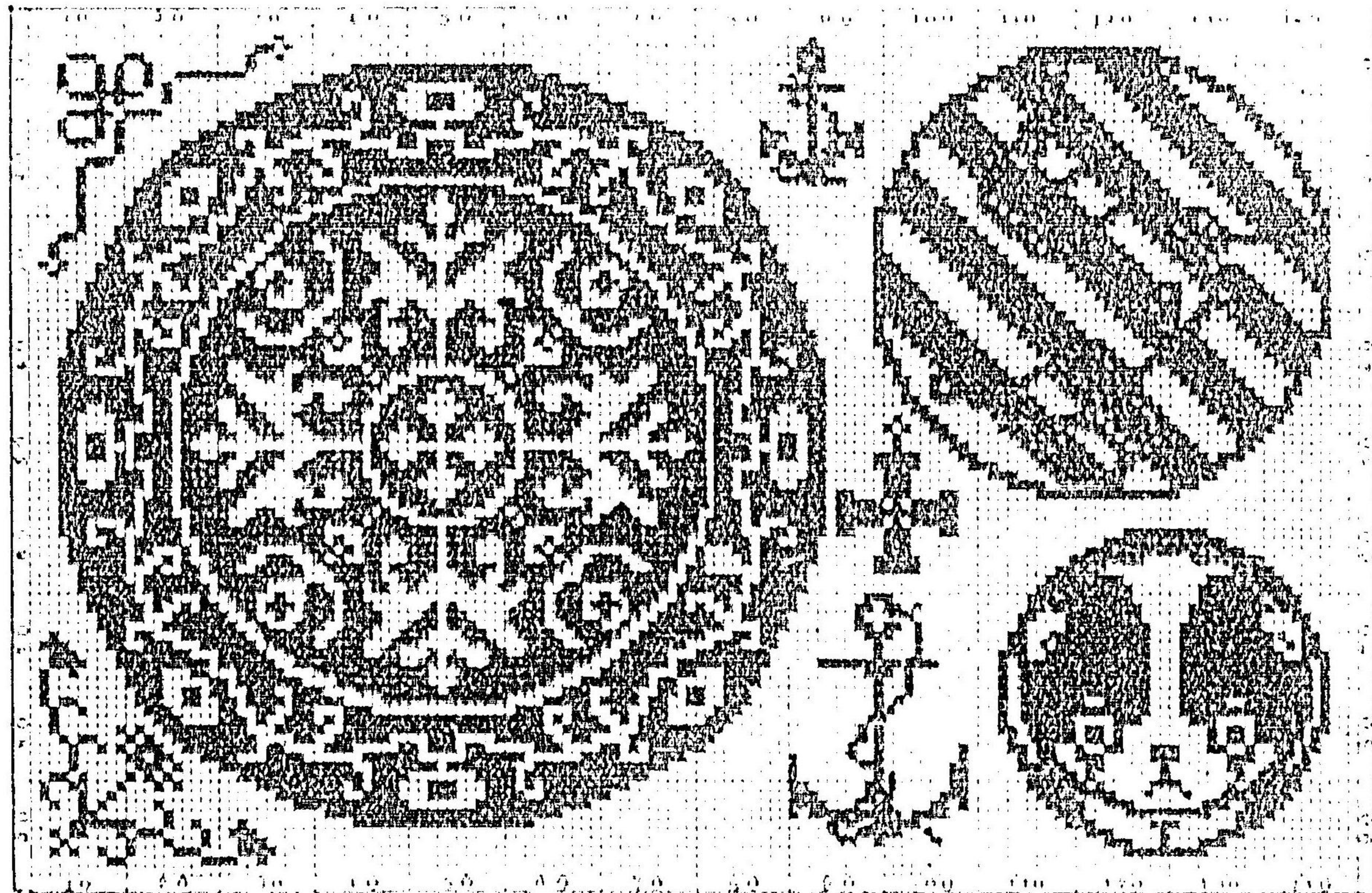


图二十三

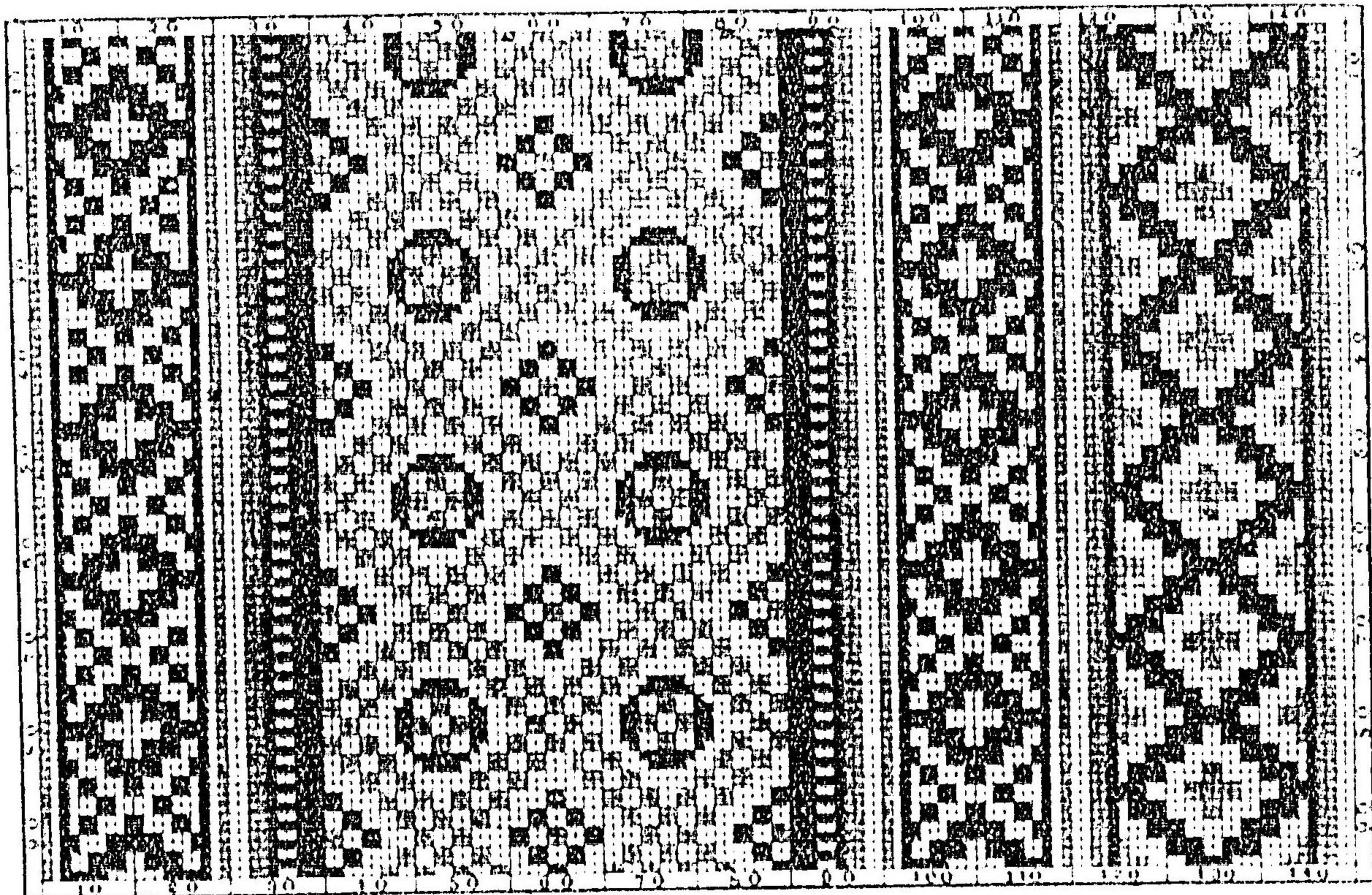


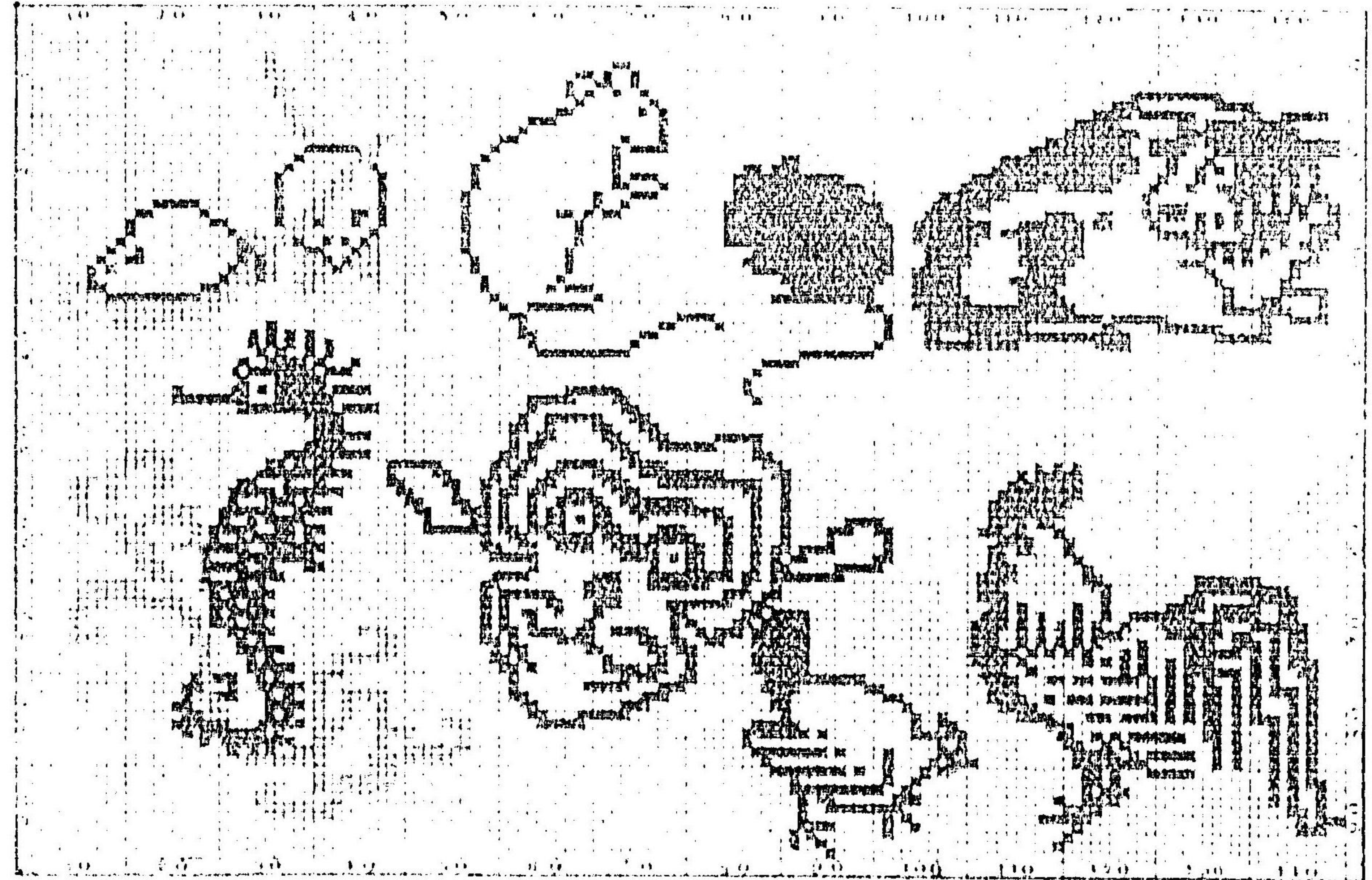
圖四上第





圖六下





图八十八

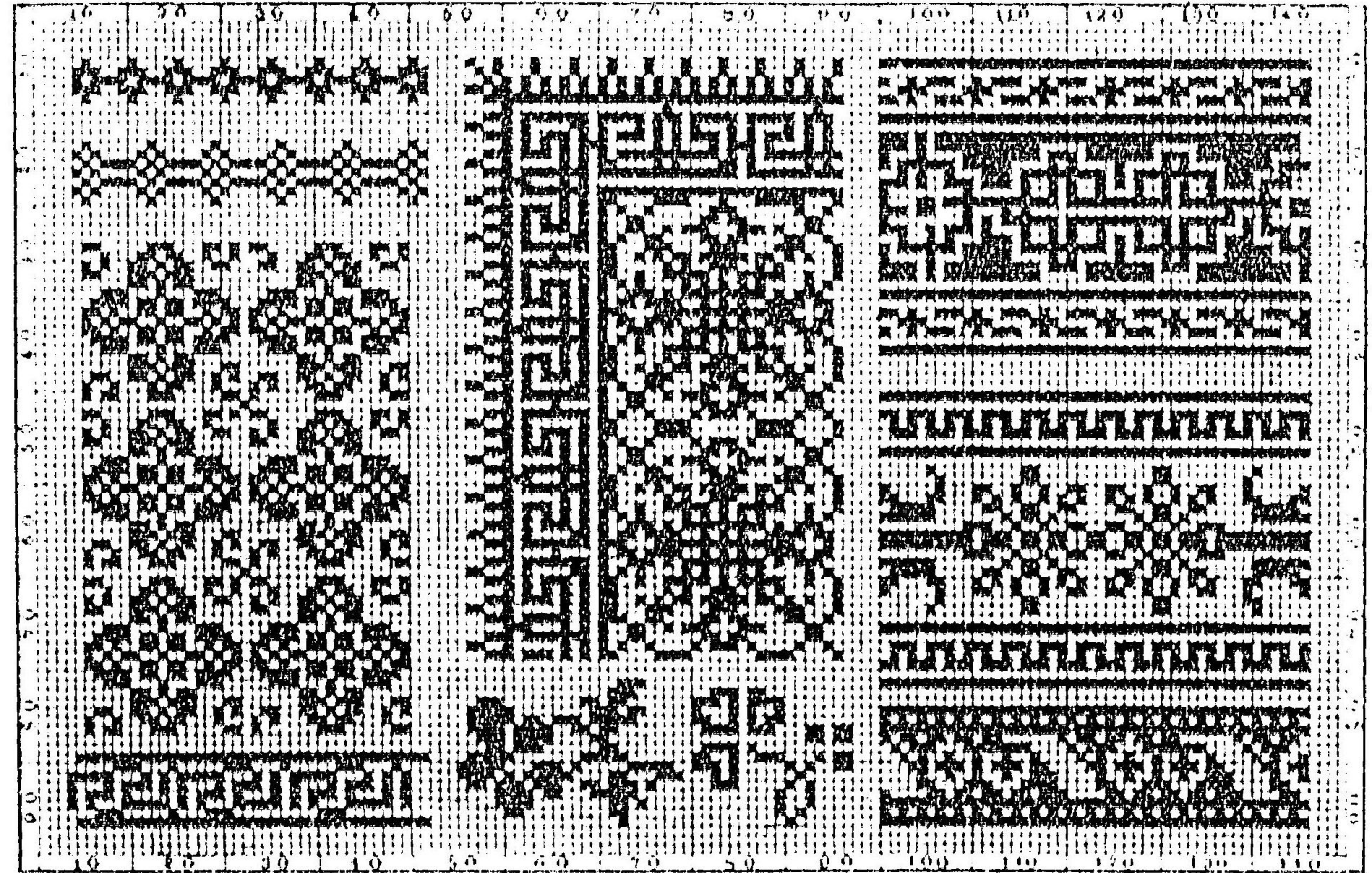
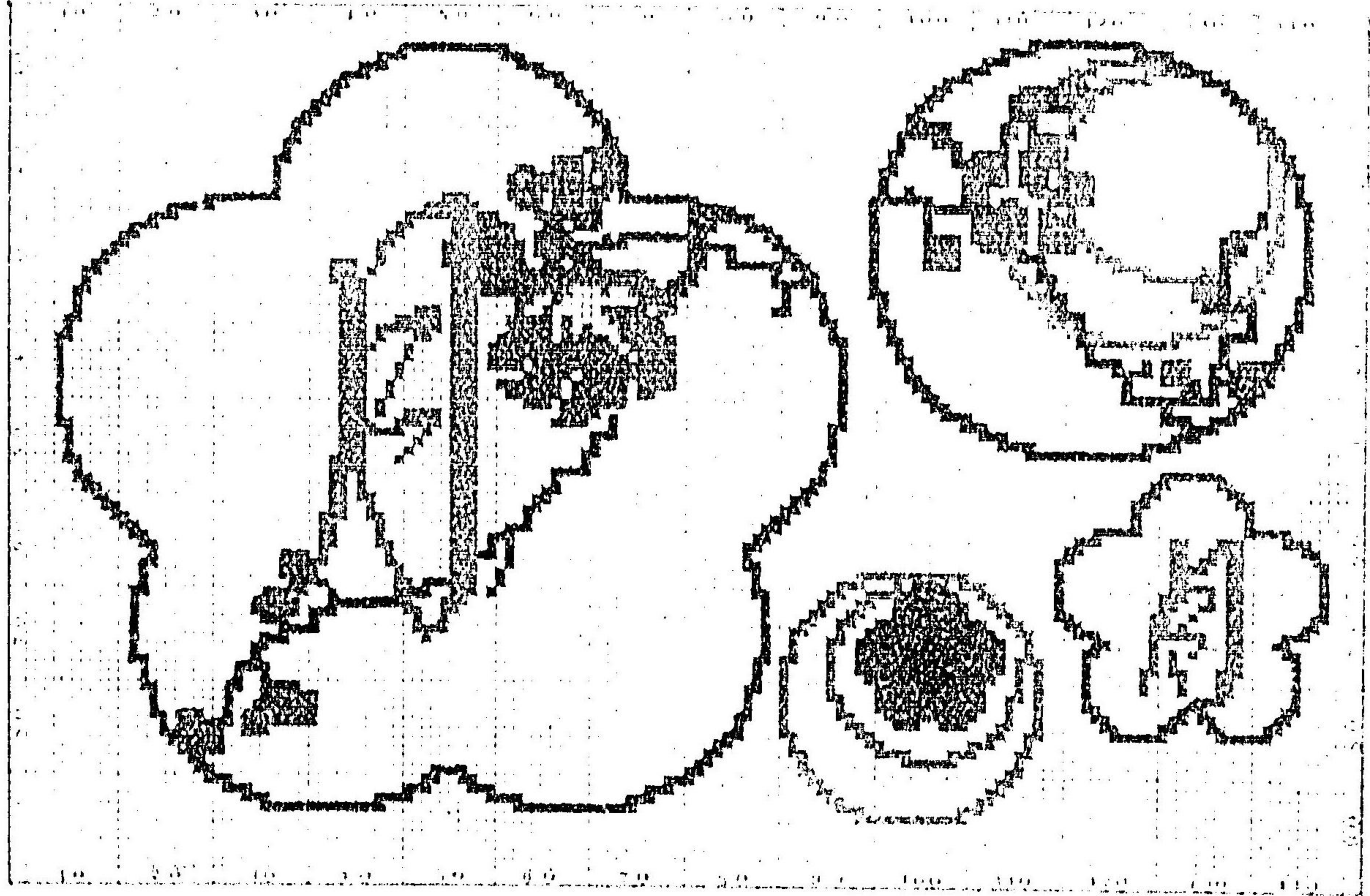
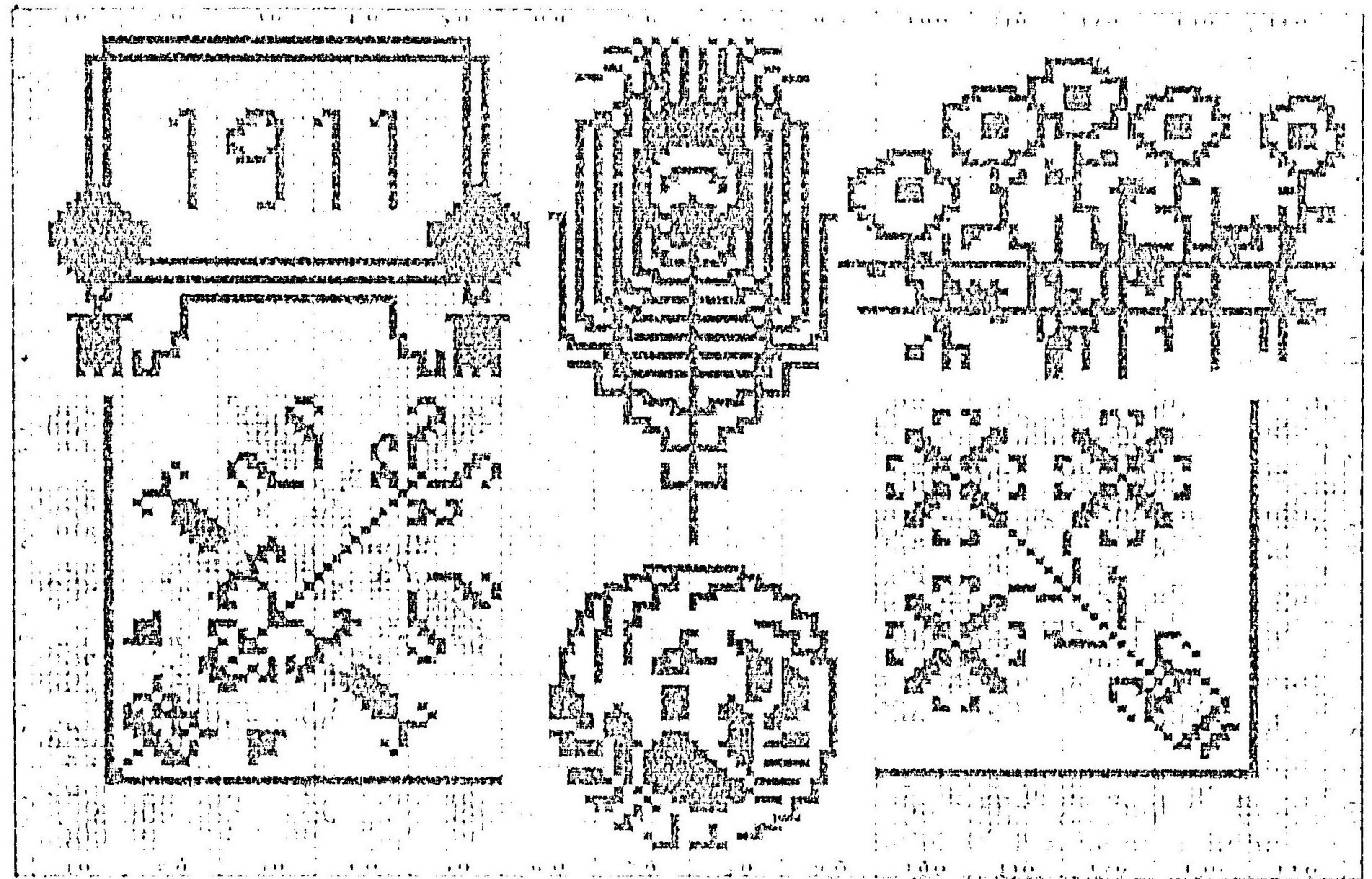
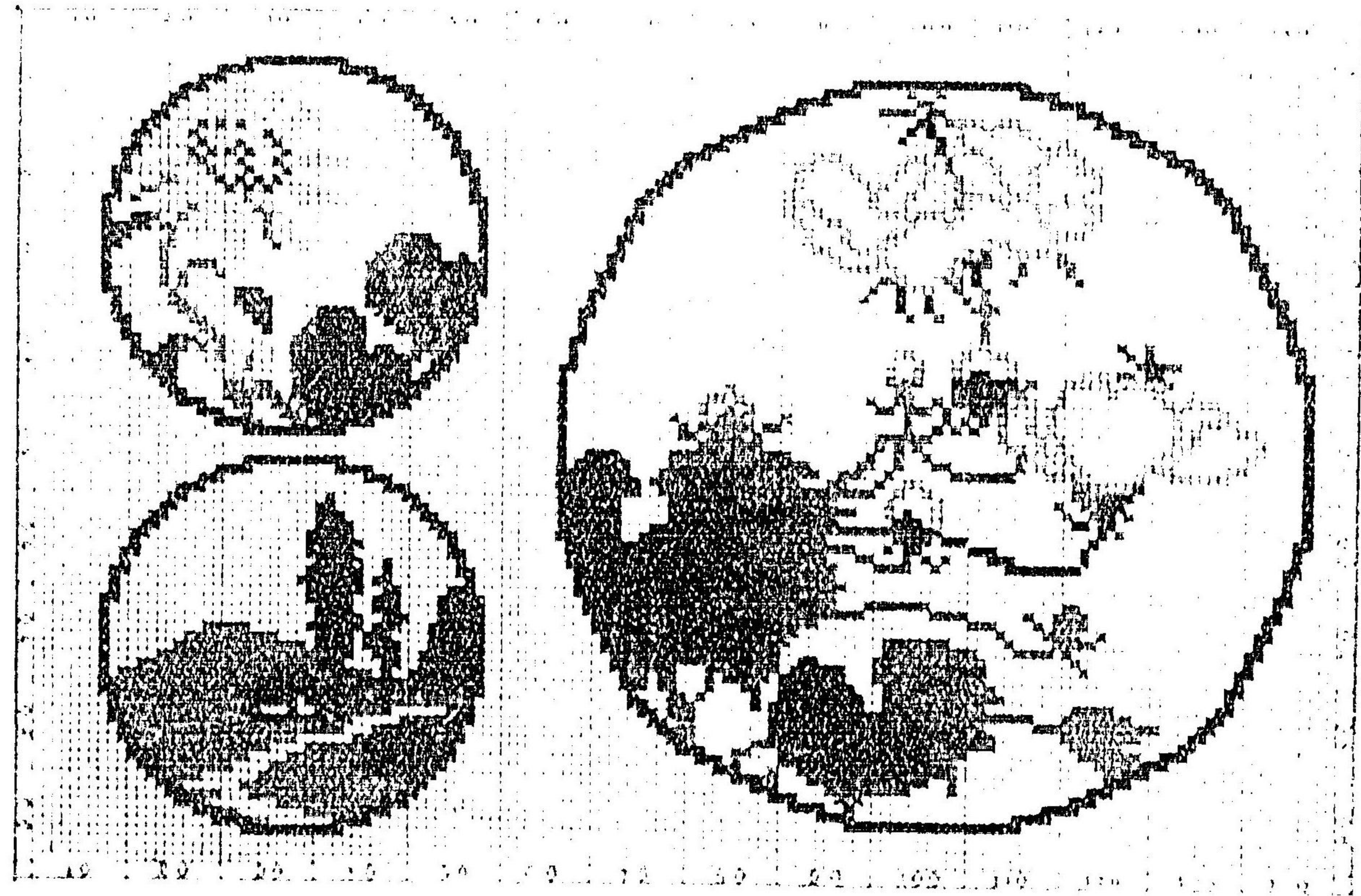


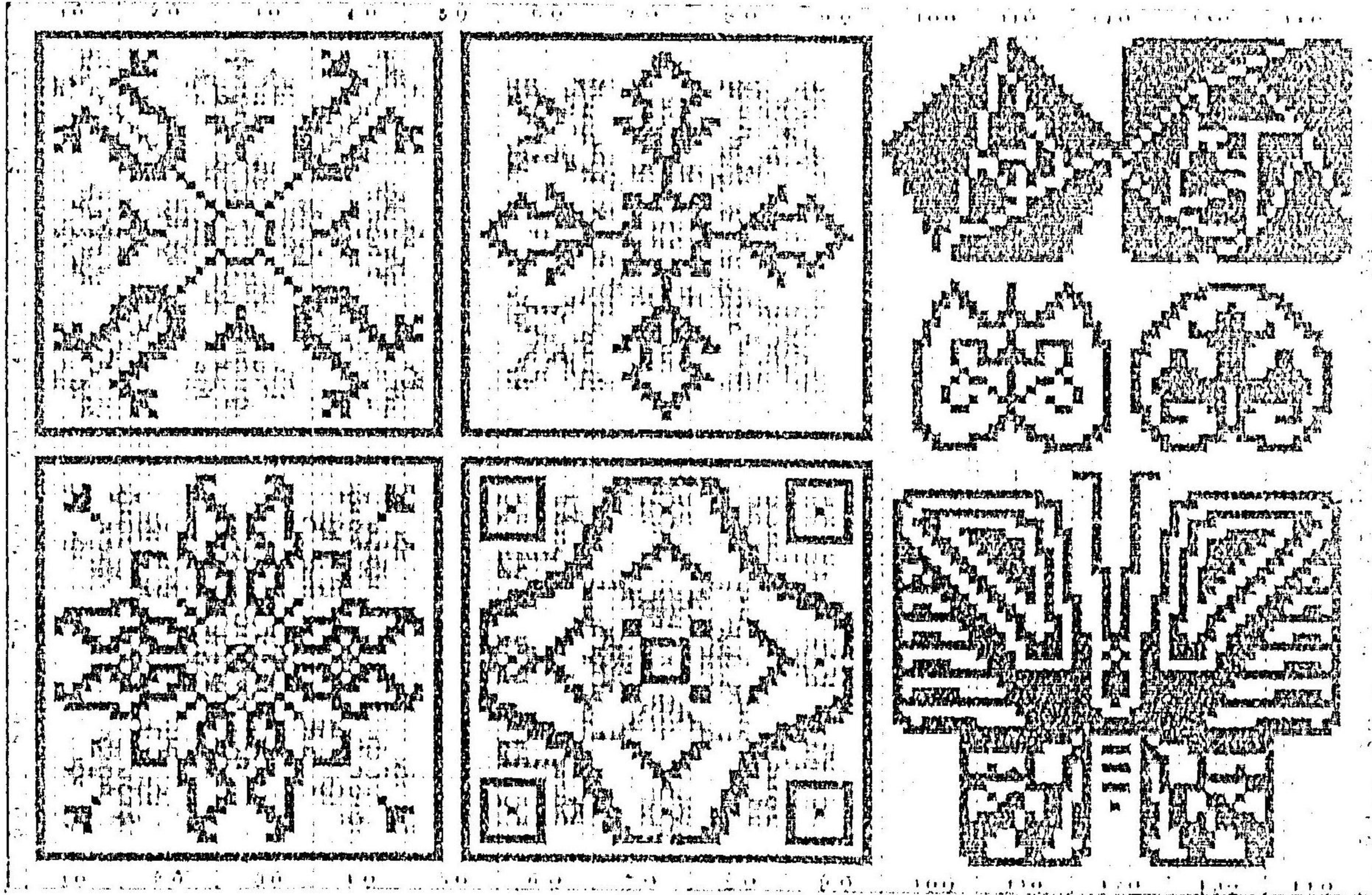
图 4-1-1

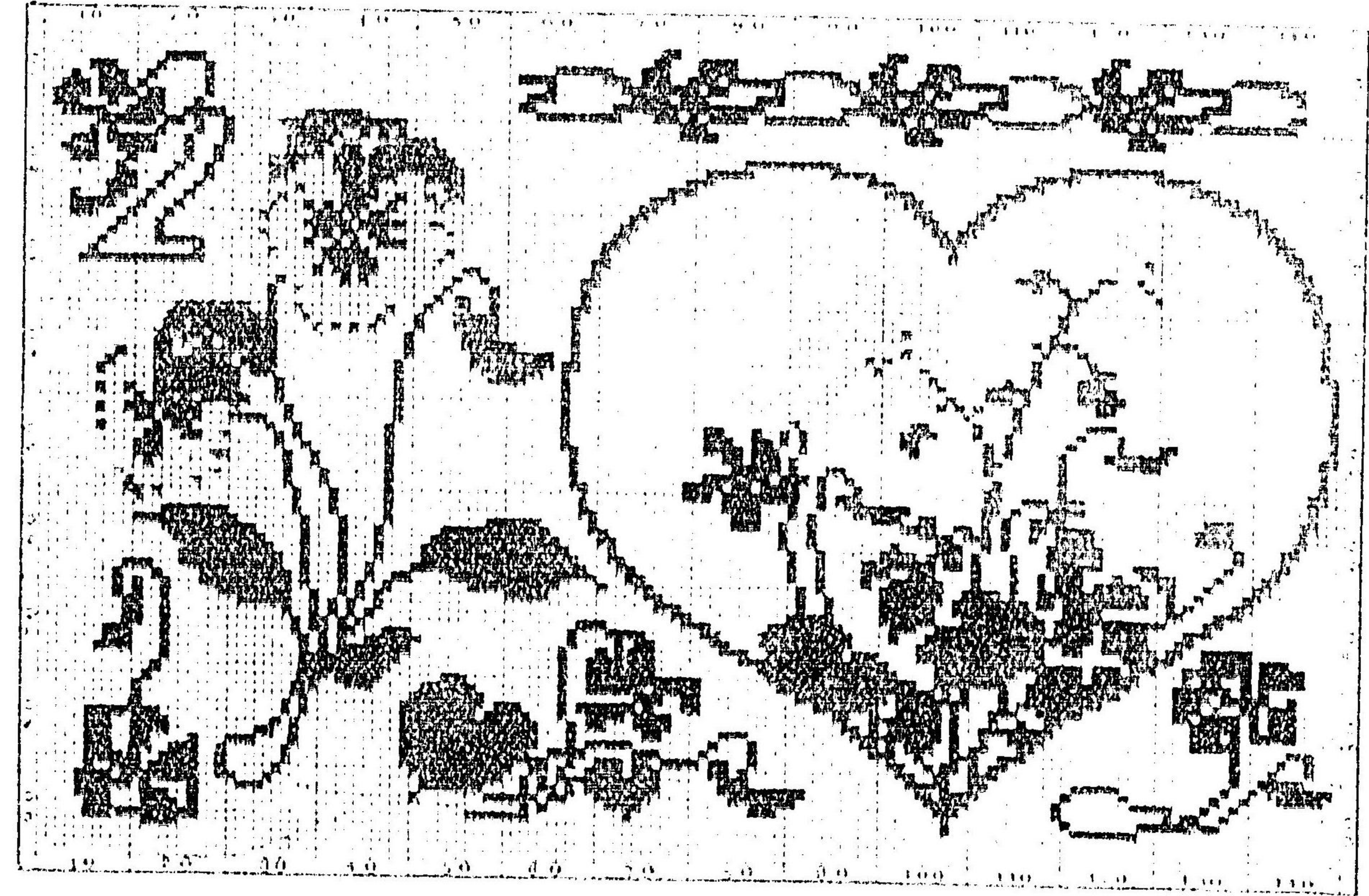




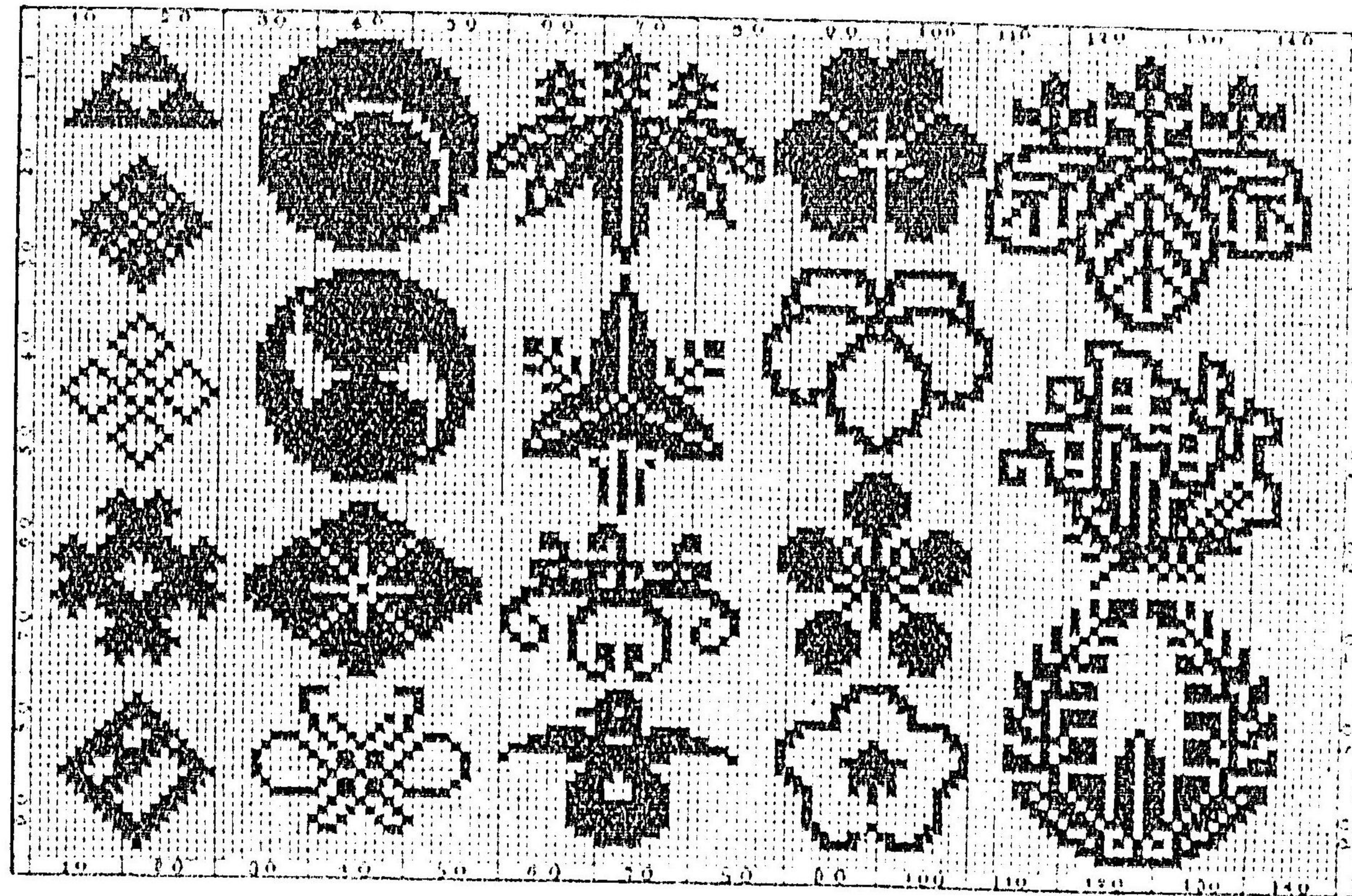
圖一十一

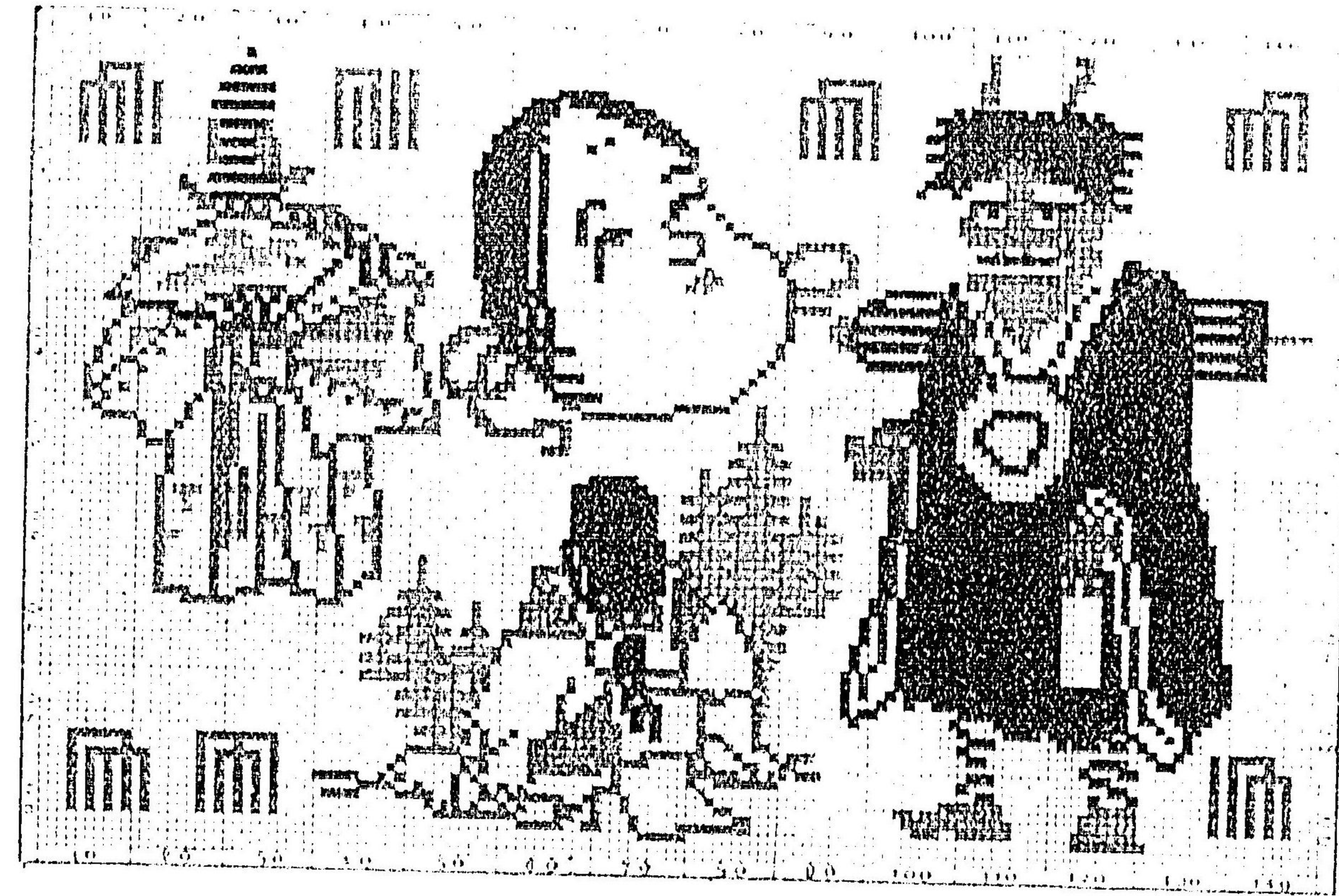




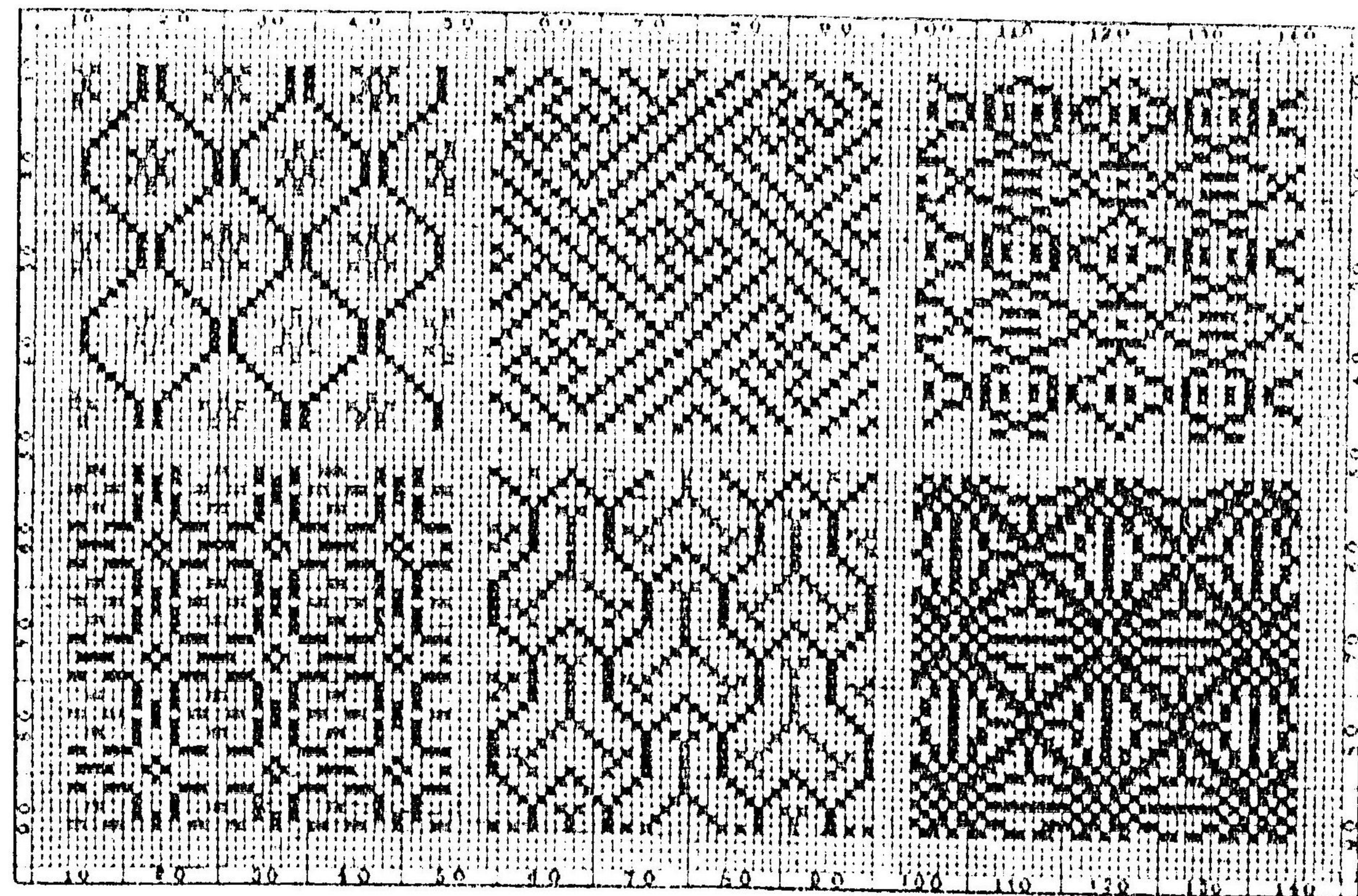


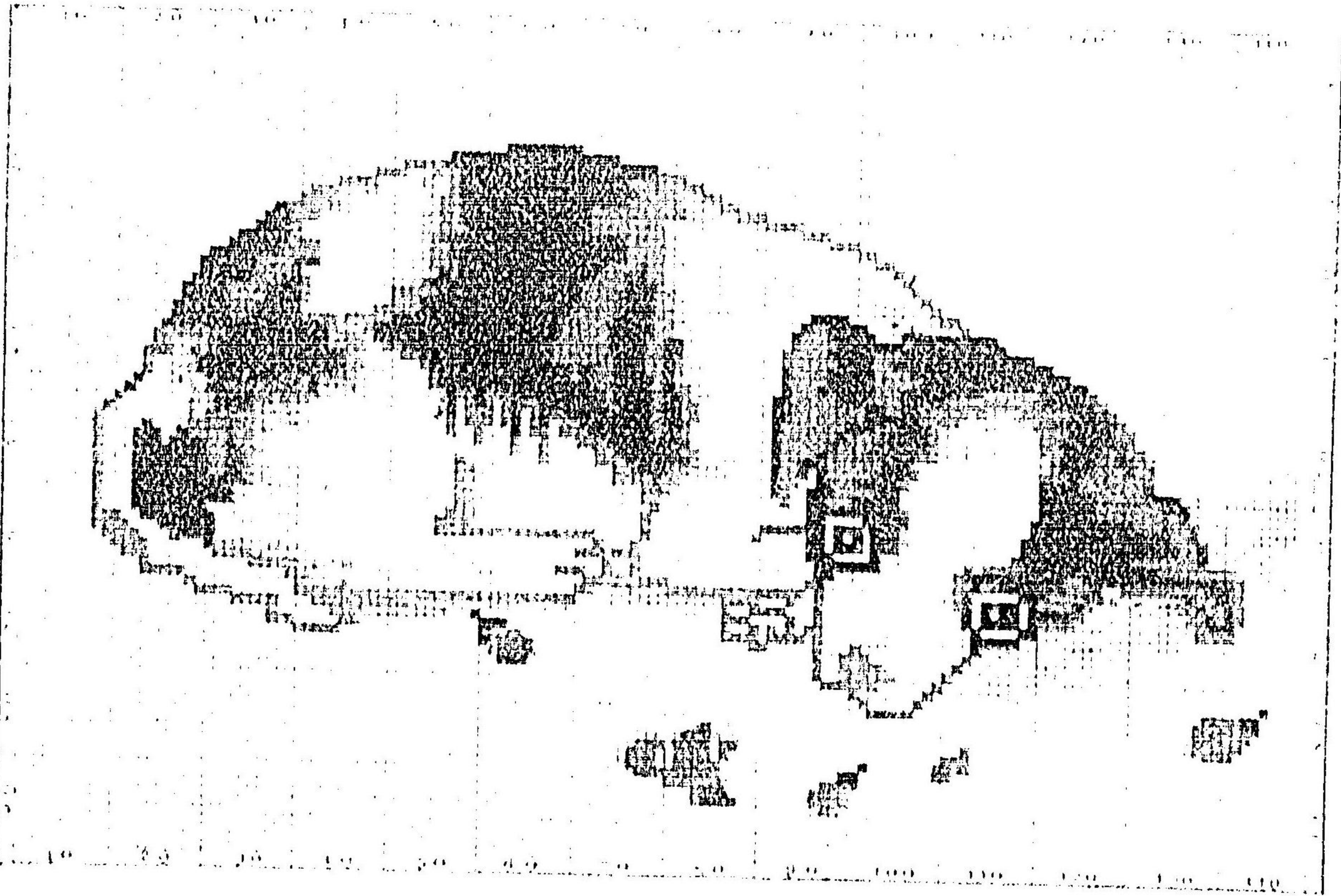
圖四十二



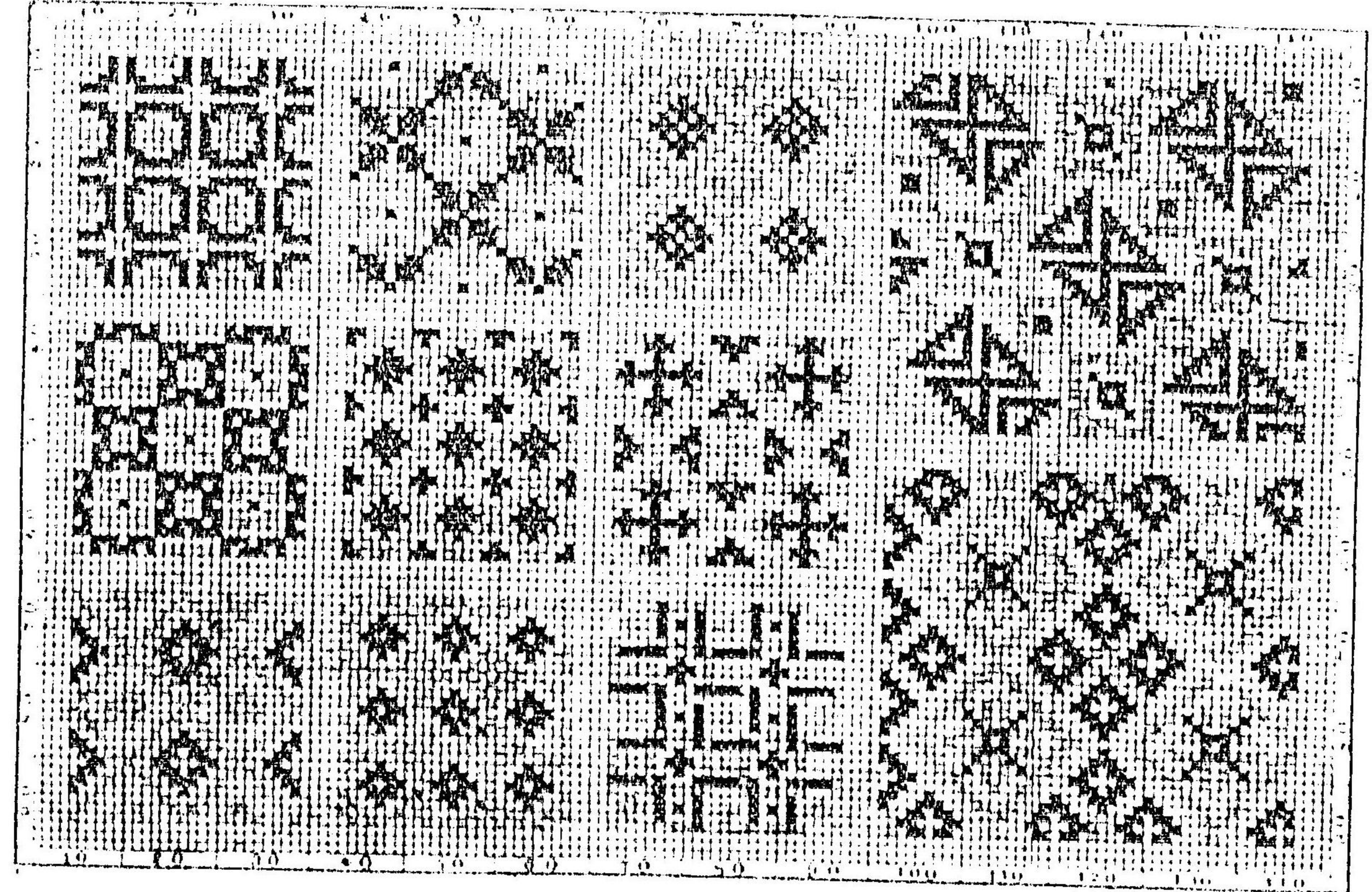


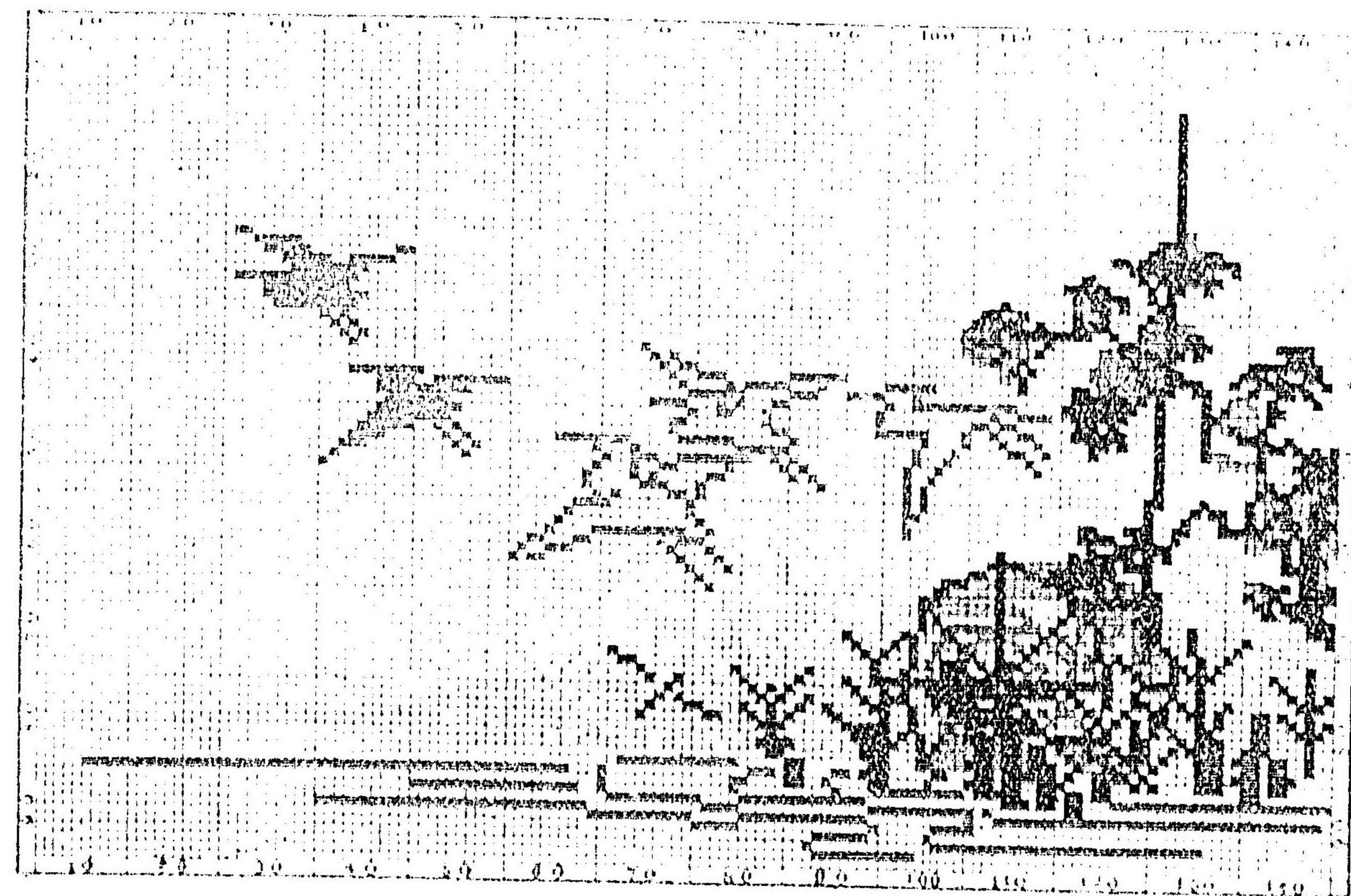
图六十一

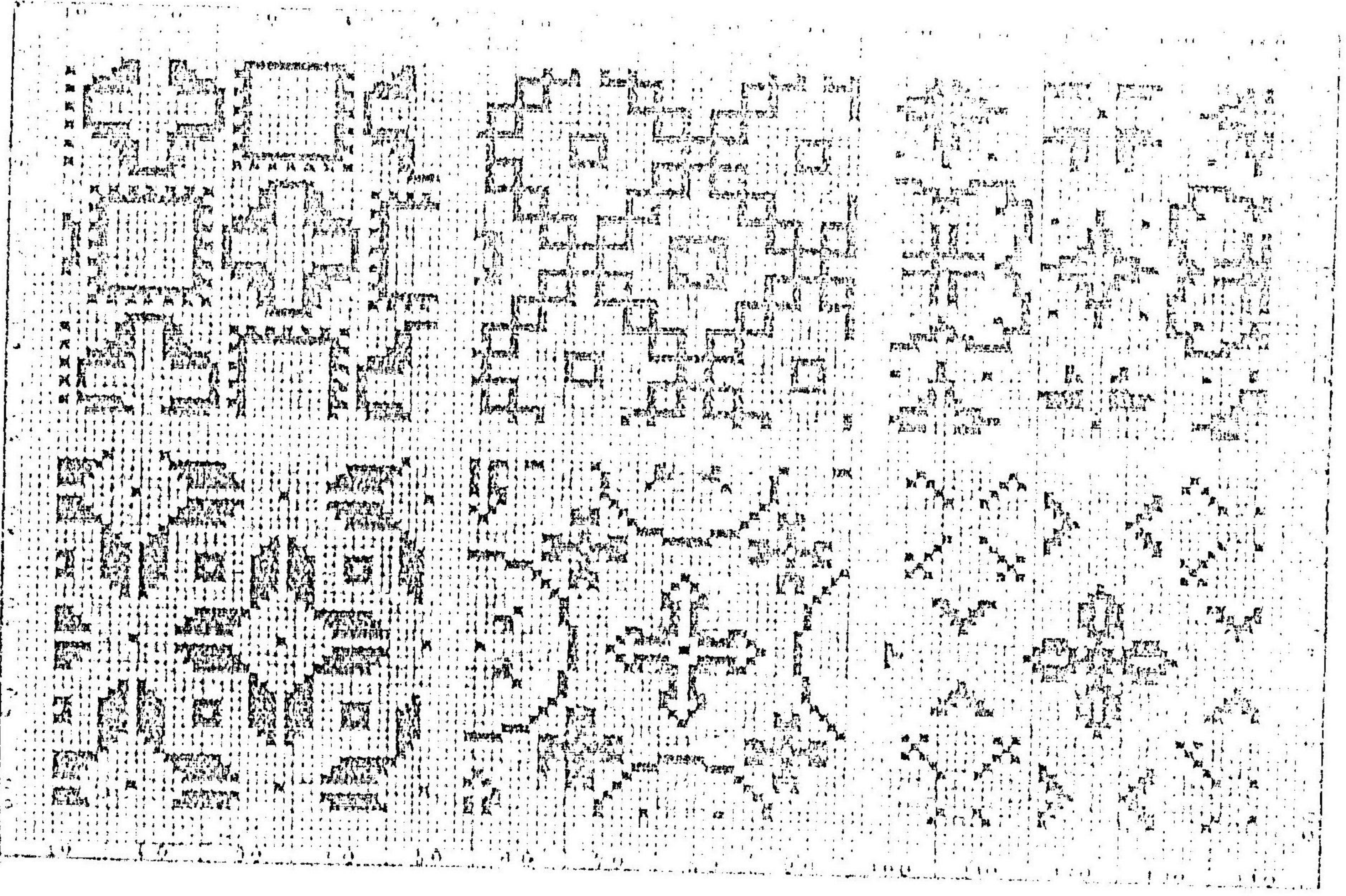


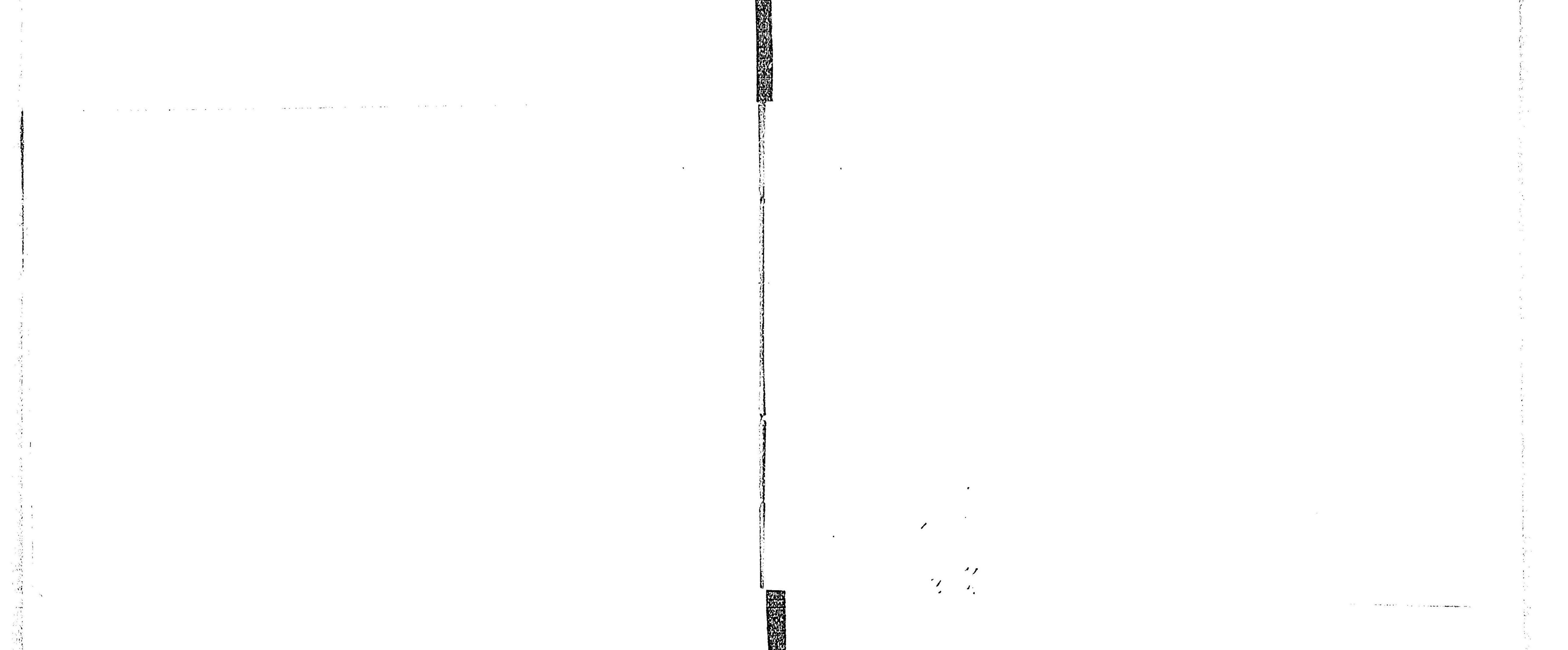


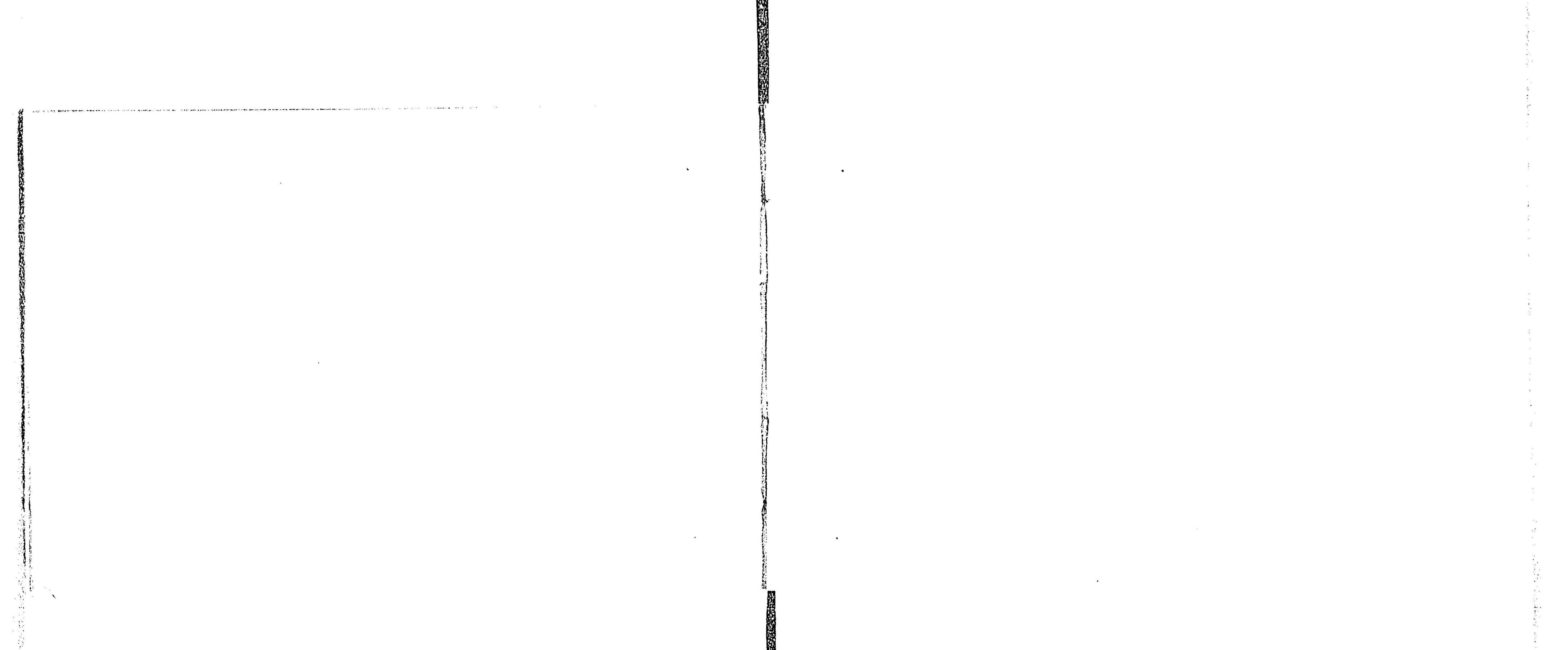
图六十八法











100-1112

94

732